

山下公園通り周辺地区まちづくりビジョン（素案）に関する 市民意見募集の実施結果について

横浜市では、「山下公園通り周辺地区まちづくりビジョン」の策定にあたり、令和7年5月に素案を公表し、市民意見募集を実施しました。市民の皆様から、貴重なご意見をいただきましたことに御礼申し上げます。

1 実施概要

(1) 実施期間

令和7年6月4日（水）から令和7年7月4日（金）まで

(2) 意見提出方法

横浜市電子申請・届出システム（入力フォーム）、郵便はがき、電子メール、FAX

(3) 周知方法

- ・素案本編の閲覧（市民情報センター、各区役所、都市整備局窓口）
- ・概要版リーフレットの配布（市民情報センター、各区役所、都市整備局窓口、行政サービスコーナー、図書館、鉄道駅等のPRボックス）
- ・記者発表、横浜市ホームページの掲載、横浜市公式X、LINEによる発信
- ・地域関係団体等への個別周知

2 実施結果

(1) 意見総数

212件

(2) 意見提出者総数（提出方法別内訳）

94名

（横浜市電子申請・届出システム51名、郵便はがき26名、電子メール16名、FAX1名）

(3) ご意見への対応状況

対応状況	説明	意見数	割合
反映	ご意見の趣旨を踏まえビジョンに反映したもの	35件	16.5%
包含・賛同	ご意見の趣旨が既に素案に含まれるもの 又は素案に賛同いただいたもの	54件	25.5%
参考	今後の参考とさせていただくもの	85件	40.1%
その他	山下ふ頭や山下公園など、地区周辺に関するご意見 本ビジョンに関連しない意見・要望等	38件	17.9%
	合計	212件	100%

※ご意見の詳細については、次ページ以降に掲載しています。

山下公園通り周辺地区まちづくりビジョン(素案)に関する市民意見募集でいただいたご意見と本市の考え方

【対応】

- ①反映 … ご意見の趣旨を踏まえビジョンに反映したもの
- ②包含・賛同 … ご意見の趣旨が既に素案に含まれるもの又は素案に賛同いただいたもの
- ③参考 … 今後の参考とさせていただくもの
- ④その他 … 山下ふ頭や山下公園など、地区周辺に関するご意見、本ビジョンに関連しない意見・要望等

まちづくりの方向性①「横浜の水際線の魅力を活かしたまちづくり」に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方 (54件)

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
1	銀杏並木の景観自体は素晴らしいと思いますが、銀杏の清掃はピーク時には毎日行うなどして歩道や道路の衛生面（臭気含む）の対策も実施してもらいたいです。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○民間事業者や地域が積極的に連携し、地区全体での継続的なにぎわいの創出や美化活動等の取組を通じ、地区の魅力の維持・向上を図るエリアマネジメントを推進します。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
2	街中（路面）の段差解消、公共交通機関やトイレ等へのアクセスのバリアフリー化をお願いしたい。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「歩行者の通行空間のバリアフリー化」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
3	またキレイな街が続くようごみのポイ捨て対策もよろしくお願ひします。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○民間事業者や地域が積極的に連携し、地区全体での継続的なにぎわいの創出や美化活動等の取組を通じ、地区の魅力の維持・向上を図るエリアマネジメントを推進します。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
4	今は静かで落ち着いたいい所。 今の景観をなくさない様にお願いします。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>において、「港町ならではの歴史・文化を継承」する旨を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
5	3地区の将来像とまちづくりの方向性 すべてにおいて 新しい町も大切だけれども、歴史ある町を大切に、タイムスリップのような町を歴史ある建物、文化と共有する	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>において、「港町ならではの歴史・文化を継承」する旨を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
6	開発が進むと、より夜間屋間人口の逆転減少が起き、観光者によるゴミ問題治安の悪化も考えられるので、それに対応する対策もしっかりやってもらいたい。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○民間事業者や地域が積極的に連携し、地区全体での継続的なにぎわいの創出や美化活動等の取組を通じ、地区の魅力の維持・向上を図るエリアマネジメントを推進します。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
7	公園内の無料のクールスポットが少ないような気がします。以前はハッピーローソン内で無料で座って涼めたのですが、今は有料のレストランになってしましました。山下公園通りを渡った向かいにも無料で涼めるスペースがあまりありません。にぎわいのためのお店も必要ですが、より多くの人が安心してくつろげるような無料の日陰の休憩所があると助かります。もしくはベンチが日陰になるようにしていただけるとありがとうございます。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○夏季における暑熱対策として、街区に木陰の確保やミストの設置、誰もが気軽に利用可能な休憩施設の整備を行うなど、快適に滞在できる環境を整えます。」を追記しました。 なお、いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
8	<新しい次世代の公園へ> ・風力や太陽光を利用した発電エネルギー利用できる施設（スマホの充電や災害時の電力供給に利用できる） ・畑や花づくり体験ができる場 季節に応じた野菜、くだもの、花等を植えて市民に提供（安く販売する等） →近くの保育園や小学校等で子どもと一緒に畑づくりを体験する等、一般の方も体験できるようにする ・夏の日ざしを避けることができる屋内型の休憩施設 夏は、外ではかなり暑いので、エアコンが効いている屋内施設で休めるようにしていただけたいです。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○夏季における暑熱対策として、街区に木陰の確保やミストの設置、誰もが気軽に利用可能な休憩施設の整備を行うなど、快適に滞在できる環境を整えます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
9	方向性についてはこのまま進めもらいたいと思いますが、課題と記載しているものに対して、具体的な解決策がないように思いました。 例えば、「山下公園を含めて暗い」に対して何をどうするのでしょうか。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「夜間の明るさの確保」を追記しました。
10	山下公園通りに歩いて楽しめるような場所ができることに期待します。 昨今の猛暑を考えると、暑さ対策が必要ですが、山下公園通りは潮風や、銀杏並木の日陰があることから、ウォーカブルな通りとするのに相応しい場所だと思います。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○夏季における暑熱対策として、街区に木陰の確保やミストの設置、誰もが気軽に利用可能な休憩施設の整備を行うなど、快適に滞在できる環境を整えます。」を追記しました。
11	「歩きやすい空間や居心地の良い滞在空間の整備」は、日本大通りのような多くの人を惹きつける魅力的な通りの整備につながると思う。また魅力的な通りの実現には、地域住民との協力も不可欠なため、関係づくりも大事になると思う。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○民間事業者や地域が積極的に連携し、地区全体での継続的なにぎわいの創出や美化活動等の取組を通じ、地区の魅力の維持・向上を図るエリアマネジメントを推進します。」を追記しました。
12	提案3：エリア事業者の広域・文化的連携推奨の強化 再開発でのストリート連携、街の回遊性向上に資するプレイスメイキングを数多く求めたい。 そうした意識の高い事業者に取り組んでいただきたい。山下エリアの魅力を向上させ、広がりを持った回遊性を増すための様々な新しい試みに、街区事業者は積極的に敷地協力やリソース提供することを促してほしい。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○民間事業者や地域が積極的に連携し、地区全体での継続的なにぎわいの創出や美化活動等の取組を通じ、地区の魅力の維持・向上を図るエリアマネジメントを推進します。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
13	今後の山下公園通り周辺のまちづくりに期待ができると感じました。 一点、課題に夜間が暗い印象を受けるとあるのに方向性に対応が明確に書かれていないと思いました。 p38の水際線の象徴となる街並みの形成にて夜間景観について触れられているので、夜間の明るさについても言及したほうが良いのではないかと思いました。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「夜間の明るさの確保」について追記しました。

14	また修学旅行生が来ても大雨や炎天下でも山下公園に集合して説明を受けているのは気の毒で、解散後もウロウロして、雨や日ざしから逃れられる施設があった方がいいと思う。但しホームレスの人が定住しないように。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、「○夏季における暑熱対策として、街区内外に木陰の確保やミストの設置、誰もが気軽に利用可能な休憩施設の整備を行うなど、快適に滞在できる環境を整えます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
15	ホテルニューグランドを中心とした歴史ある街並みを保全しつつ、横浜のメインストリートの一つとして、誰もが訪れたいと思う建物やテナントを周辺に誘致してもらいたい。	②	ご指摘の通り、歴史ある街並みを保全しつつ、誰もが訪れたくなる機能を誘導することが重要と考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>において、横浜の外国交易の歴史を象徴する旧英國七番館やホテルニューグランド等の歴史的建造物、灯台を象徴する横浜マリンタワーなど、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
16	山下公園側の歩道が狭いため、より人々が歩きたくなるような空間整備にもらいたい。	②	ご指摘の通り、人々が歩きたくなるような空間整備は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、山下公園通りや水町通りなどの、快適に歩ける環境整備の旨を記載しています。
17	みなとみらいから元町にかけて海や古い街並みの景色を楽しみつつ散歩ができる貴重な地域です。一步市街地側に入ると少し古かったり整備がされていなかったりする部分もあるので、観光客の増加に合わせて安全に歩けるところを、銀杏並木よりさらにもう1ブロック内陸側まで増やしてもいいのではと思います。	②	ご指摘の通り、水町通りを含めた安全な歩行者空間の整備は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、山下公園通りや水町通りなどの、快適に歩ける環境整備の旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
18	「2 地区の歴史」に記載のあるとおり、歴史ある地区であり、その雰囲気を大切にまちづくりを進めていただきたいと思います。	②	ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
19	「4（3）まちづくりの方向性」に水際線の記載があります。まちから水際線、海を眺める方向と、海・水際線からまちを眺める両方の方向を考慮して、魅力あるまちづくりを進めてください。	②	ご指摘の通り、まちから海・海からまちのどちらの景観も重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①横浜の水際線の魅力を活かしたまちづくり>では、公園や道路の植栽、建物配置等を工夫し、街区側から海への眺望を確保する旨や、海から横浜を眺めて、ここが横浜だと実感できるような水際線の象徴となる街並みを形成する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
20	歩道は狭く殺風景な印象なので独自デザインで非日常な雰囲気を出せると街歩きが楽しくなるのではないか。横浜は箱の中身では東京に勝てません。街歩きがしやすい事楽しい事こそ横浜の武器。街全体をライトアップ、イルミネーション、アート作品など街歩く丈で観光となる街、だからこそベンチを多くして休める所も必要です。ただ歩いているだけで観光になる観光地、街自体が観光地なら新たな箱物イベントがなくても観光客・市民も満足してもらえるのではないか。信号機の人形を変えるとか出来ないものでしょうか。	②	ご指摘の通り、歩いて楽しい空間の創出や人々が憩えるファニチャーの設置は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、まちなかに変化をもたらし来街者が歩きたくなる環境について記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
21	概要版4街づくりの実現にむけての記載の通り、山下公園通りはウォーカブルで居心地の良い通りに設定されているように、歩きたくなるような仕掛けを設定してほしい。シンボリックな施設も必要ですし、各ビル等の店舗に任せのではなく、公園や道路も活用し店舗のぎわいが公共空間にでていくような雰囲気の通りなると良いと考えます。市民にとって歩いていて楽しめる空間（店舗の客席がしみでているようにぎわいはあってよいのかなと思います）海や緑という唯一無二の環境がありますので、それを活かしつつ活気ある街づくりになることを期待しております。	②	ご指摘の通り、人々が歩きたくなるような環境整備は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>において、まちなかに変化をもたらし来街者が歩きたくなる環境について記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
22	水際線は横浜市の顔というべき場所だと思います。安易に近代的な建物にするのではなく、開港の歴史が感じられる街並みを生かしたものにして頂く様によろしくお願ひします。	②	ご指摘の通り、開港の歴史が感じられる街並みを生かしたまちづくりを進めていくことが重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
23	建物の老朽化に対しては港町の景観を大事にしながら新しい建築物への建替えを行うのでしょうか。	②	<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成する旨を記載しており、港町ならではの歴史・文化を継承しながらまちづくりの検討を進めています。
24	・40P「港町ならではの歴史・文化を継承」→これは是非やってほしい。新しく建物を作るときもそれに合わせた外観がよい。	②	ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
25	山下公園通りがきれいなのは電線がないからだと思います。地震対策のためにも、電信柱・電線は地下が良いと思います。	②	ご指摘の通り、電線・電柱の地中化は、良好な都市景観の形成において必要なほか、防災面においても重要と考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの良好な都市景観の形成に向けて、統一的な建物デザインや電線・電柱の地中化などを検討していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
26	提案1：歩行者天国事業の日常化「食とアートと音楽に溢れる祝祭街区」へ。2023年からはじまった山下公園通りの歩行者天国事業は素晴らしい試み。今後、銀座のように頻度の高い開催を大きなコストをかけずに賑わいづくりが実施可能できるための機能導入を、街区開発に組み込む。	②	<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくりのコラム「山下公園通りの道路空間の活用によるにぎわい創出の取組」>では、地区内の車両交通の流入の抑制を検討するなど、歩行者優先の道路空間の形成に向けた取組を推進する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。
27	◆上記と「低未利用地活用」と近似のコラム（P37）、建物の公開空地や道路の交流・滞在空間に入々が憩えるストリートファニチャー・安らぐことができる緑化空間・楽しめるアートなどを点在させることで、街中に変化をもたらし来街者が歩きたくなる環境」を提起している。今後とも考慮する必要がある。本提案を積極的に展開してもらいたい。	②	ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、建物の公開空地や道路の交流・滞在空間に入々が憩えるストリートファニチャーや、安らぐことができる緑化空間、楽しめるアートなどを点在させることで、まちなかに変化をもたらし来街者が歩きたくなる環境を創出する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。

28 この地区は横浜の開港の歴史を色濃く残す地区ですが、メルパルクやホテルモントレの跡地が更地となり、県民ホールも休館となるなど、まちづくりが長い期間に渡り停滞していると感じています。 この地区ならではの歴史を活かしながらも、ビジョンにあるような様々な機能とも融合させ、新たな横浜の象徴となるなちとなることを期待しています。 現状では、この地区を目的として訪れる機会があまりないと感じています。どこにでもあるような開発ではなく、山下公園や山下公園通りの緑、その先に広がる海など、この地区ならではの魅力資源を十分に活かしたまちとし、関内やみなとみらい、または東京とも差別化を図り、国内外から選ばれ、誰もが行ってみたいと思える、市民の誇りとなるようなまちづくりを進めていただきたいと思います。	② ご指摘の通り、この地区ならではの魅力資源を活かしたまちづくりを行っていくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①横浜の水際線の魅力を活かしたまちづくり>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成していく旨や、水際線の象徴となる街並みを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
29 今の山下公園通りの雰囲気はそのままに、韓国のようなおしゃれなカフェがたくさんあるといいです。 ニューグランド1階カフェの赤屋根の外観みたいなレトロでおしゃれな施設が増えるといいです！	② ご指摘の通り、低層部にカフェ等を設け、景観などを楽しめる空間を創出することは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、建物低層部の店舗が、前面の空地で海と緑を感じながら飲食を楽しむオープンカフェ等を実施することで、居心地の良い空間を創出する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
30 「まちづくりの方向性」への意見 来る人を増やす取り組みをするなら、風景を見ながら休める場所を増やしてください。現在もベンチなどで休むことは可能ですが、人が増えると、座れないことがあるかもしれません。臨海部に風景を見に出かけるので休みながら過ごせる場所があると良いです。	② ご指摘の通り、景色を見ながら憩える滞在環境を創出していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、建物の公開空地や道路の交流・滞在空間に人々が憩えるストリートファニチャーなどを点在させる旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
31 興味深く読ませていただき、賛成です。 私の個人的な考えですが、新しいものは必ず古くなりますので、クラシカルな横浜の開港。文明開化をイメージしながら、最先端のものを取りいれ、新旧融合のような街を望みます。	② ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、横浜の外国貿易の歴史を象徴する歴史的建造物や、灯台を象徴する横浜マリンタワーなど、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
32 車が多いと危ないから、自転車や歩行者が安心して通れる道にしてほしいです。	② ご指摘の通り、自転車や歩行者が安全に通行できる空間を整備することは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、開発などにより山下公園通りや水町通りの通行空間を拡げるなど、快適に歩ける環境を整備する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
33 高い建物があると街がカッコよく見えると思う。でも、木や海も見えるようにしてほしいです。	② ご指摘の通り、緑や海などの景観を含めた象徴的な街並みを形成していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■水際線の象徴となる街並みの形成>では、海に面して緑が広がり、歴史的建造物と調和した格調高い街並みが低層部に構えられ、上層部はシンボリックなデザインでスカイラインが形成されるなど、自然と歴史、新しさが融合した都市景観を創造する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
34 建物がなくなって街が非常に寂しくなっています。もう一度横浜を象徴する場所となるように、これからまちづくりに非常に期待しています。 山下公園通りは古さと新しさが融合した、他の横浜にはないような魅力的な建物や空間を作つて下さい。	② ご指摘の通り、歴史や文化等と融合した、象徴的な街並みを形成していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①横浜の水際線の魅力を活かしたまちづくり>では、開港の歴史が感じられる街並みなど、この地区ならではの特長を活かした、水際線の象徴となる景観を有したまちづくりを推進していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
35 ■東の結節点に関する意見 【意見】 山下公園駐車場を無くして、海へ向かった視界を良くしてほしいです。あの場所に駐車場があつても、山下公園通りの道路の渋滞につながるため。駐車場は中税務署の跡地などに移動して、人形の家の駐車場とセットで活用してほしいです。 【現在の残念なところ】 35 マリンタワー、バーニーズニューヨークなど雰囲気の良い施設がありますが、山下公園の駐車場が海側の視界をさえぎってしまっており、マリンタワー前交差点付近から見える景色はそれほど良いものではなく、魅力に欠けます。エッグスンシングスのテラスからの景色もいまひとつで、地元民がリピートしたいと思える景色ではありません。さらに山下公園の「世界の広場」も古くて閑散としており、昔ながらの「港湾」の雰囲気が強いです。このように、東側はエリア的に魅力に欠けるので元町・中華街駅の「マリンタワーぐち」のエレベーターもあまり活用されていない気がします。	③ ご指摘の通り、本地区の魅力向上において海への視界の確保は大変重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、街区側から海への眺望の確保を図る旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
36 ぜひ海に面して緑が広がる魅力を最大限に活かし、マンハッタンの摩天楼群みたいなスカイラインを形成して頂きたいです。高さ制限を緩和して、200m~300m高さのシンボリックな建物が建れるように、その摩天楼群からのライトアップや光のショーなどで香港の夜景よりも美しく全世界の人々を引付けるナイトタイムエコノミーで有名な大都会になって頂きたいです。	③ ご指摘の通り、象徴となる景観の形成は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■水際線の象徴となる街並みの形成>において、水際線の象徴となる街並みを形成する旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
37 新しい県民ホールの外観も山下の昔を思えるようなつくりと、ホール1階の海側に山下公園みなどホールをつくり、歴史ある過去の山下公園どおりの歴史が振り返りができる場所をつくる。	③ いただいた県民ホールに関するご意見は、神奈川県と共有するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
38 ニューグランド前あたりは夜暗いので照明として4季折々のイルミネーションはどうでしょうか、夏なら蛍とか。	③ ご指摘の通り、夜間の暗さは本地区の課題の一つであると認識しており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■水際線の象徴となる街並みの形成>では、夜間景観の創出について記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
39 ①横浜の水際線の魅力を活かしたまちづくり ニューヨークの街並みを参考にした、人が集まる街に創設するのが良いと考えます。 ・山下公園 : セントラルパーク ・赤レンガ倉庫 : ワシントン通り ・山下公園通り : ウォールストリート 近い雰囲気のため、この特徴を生かして人が集まる場所にしていくのが良いのでは。	③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
40 ・年末のイルミネーションは単色にして上品にして欲しい。	③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

41	<p>4地区の将来像とまちづくりの方向性<(1)水際線の魅力向上によるまちの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西の結節点と東の結節点に触れており、結節点のまちづくりの事例として北仲通地区や関内駅周辺を例として取り上げていますので、山下公園通りにおける2つの結節点も、高密度な土地利用を想定しているものと思われますが、高密度であったりランドマークとなり得る利用をもっと明確に打ち出していくべきだ。特に海方向から陸地を見たときに、東西の結節点に象徴的なランドマークがそびえているような利用を促進していくべきだ。 	③	<p>ご指摘の通り、象徴となる景観の形成は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■水際線の象徴となる街並みの形成>において、水際線の象徴となる街並みを形成する旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
42	<p>4地区の将来像とまちづくりの方向性<(3)まちづくりの方向性<①横浜の水際線の魅力を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山下公園通りにぎわいを創出することが求められるものの、片側は公園であり、通りに対して片側しか店舗等が立地できないというハンデキャップを負っている。にぎわいをもたらすためには、山下公園通りの陸側と海側の歩道を気軽に往来できるような歩行者中心の通りに変えていくこと、山下公園にもパークPFI等により店舗を立地させて山下公園内にもにぎわいを創りだすこと、山下公園通りの陸側から港の眺望を阻害するイチョウ並木をはじめとした高木を大胆に伐採して眺望を確保することが必要と考えます。 	③	<p>ご指摘の通り、山下公園と山下公園通り一体でにぎわいを創出することは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、山下公園の柵や植栽等の工夫により公園と道路を一体的に活用できる設えとしていく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
43	<p>横浜市の方向性はすべてダメです。中区で重要なことは賑わいを目指す再開発ではなく、歴史的街並みと景観を守ることです。後者は行政しかできません。すでに、2000年頃から始まったマンションの高層化で中区の街並みが壊れています。最悪なのは関内駅前のベースゲートです。関内駅前の本来の土地柄を無視して再開発が進められています。現行の職員の能力では「山下公園通り周辺地区まちづくり」は無理なので、歴史的街並みと景観を守ることに集中してください。これ以上中区を壊さないでください。臨海部活性化推進課の皆さん大事なことを忘れてはいると思います。横浜市はSDGs未来都市です。なので、インクルーシブが原則です。市民から示された課題は全員参加で話し合う必要があります。これは皆さんがやっている意見募集とはまったく違うものです。台湾のオードリー・タンさんはブルラリティで実現する努力をしています。皆さんは何か手段を持っていますか。</p> <p>補) 上述した関内駅前に市庁舎を1棟または2棟増設すれば、旧市庁舎が使え、新庁舎の高さもコストも抑えることができました。ところが、横浜市は全地区を三井不動産と三菱地所に提供してしまいました。これは市民に対する裏切りです。さらに、高さ制限を31メートルから170メートルに緩和しました。都市整備局の職員は公務員であることを忘れ、広告代理店の社員かのように振る舞える仕事をしたいようです。だから、市民ではなく業者だけを歓迎しています。</p>	③	<p>ご指摘の通り、文化・歴史を継承したまちづくりを進めていくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
44	<p>従来の美しい景観を守ることは、歴史を守り、未来を守ることではないでしょうか？</p> <p>そういう意味では、今、関内に建設されている高層ビルは、横浜の景観には合いません。</p> <p>産学連携は、関内でなくとも、少し横浜の中心から離れた場所にすべきだと思います。</p> <p>そこに産学連携で、人の流れがあまりなかった場所に、人を呼び込むことができるのでは無いでしょうか？</p>	③	<p>ご指摘の通り、歴史や文化を継承したまちづくりは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、歴史的建造物など、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成する旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
45	<p>◆「電柱・電線」の問題 (P23、P40) は、市の問題ではない！第一義的には電力会社が解決すべき課題である。</p>	③	<p>本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
46	<p>(1) 山下公園通り（山側）について、銀杏並木はそのまま残し（特に山下公園通りの海側）、山下公園と同通りの境界を取除き一体化させる。</p> <p>①山下公園通りは、単なる「ウォーカブル」にとどめず、公共交通機関以外の車輌通行を排除する。公共交通の一形態として、近隣住民・観光客の利便を図る市営バス（自動運転）以外に、LRT（Light Rail Transit ライトレール交通）も考慮する。（仮にLRT導入とするならば、当該ルートに、海岸通り-開港広場交差点-山下公園通り…に固執せず、「山下臨海線プロムナード」線も候補とする。いずれにせよ、今後再開発が予定される、山下ふ頭内の移動手段の用も担わせる）。</p> <p>P37（街づくりの方向性）には、山下公園の柵・植栽等の工夫により公園と道路を一体的に活用できる設えとするなど、街区や山下公園通りから、海や公園を身近に感じられる街づくりを推進、と、またP38（山下公園通りの道路空間の活用）には、「歩行者天国化」を提案。</p>	③	<p>ご指摘の通り、山下公園と山下公園通りを一体的に活用していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、山下公園の柵や植栽等の工夫により公園と道路を一体的に活用できる設えとしていく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
47	<p>①上記(1) 山下公園通り①において、車輌通行止めとする、と提起した。しかるに、当該不便の解消の一助として、本「水町通り」を、西（桜木町・港広場交差点）側→東（山下ふ頭入口）側への一方通行（下り線）とする。一方、「海岸教会通り」は、東→西（上り線）の一方通行とし、活用する。本上・下線とも、一定の時間外の積載2t以上の車輌の通行は終日不可とする。</p>	③	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
48	<p>③「歴史的建造物が残り、かつて居留民でにぎわいを見せていました水町通りは、来街者と地域の方が交流できる多目的空間・ギャラリー・個性のある飲食店等が集積。『界隈性』ある通りを目指す」「ビジネス・R&D拠点の形成」(P40、P46)と提起している。国内外から「スタートアップ/ベンチャー企業」の起業家、「アーティスト/クリエイター」らを当地に迎い入れるために、上記②において改修・建替え・リノベーションの予定のある建物群のうち、「業務」・「住宅」施設の所有者・地権者は、安価で使い勝手のいいオフィス・スタジオ・住居を提供すべきであろう。当然、市当局や関係機関による支援体制の整備も重要。「創造的産業クラスターの形成による経済活性化」を図るためにも考慮する必要がある。</p>	③	<p>本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

49	<p>古い名建築を中心に落ち着いた街づくりが現状出来ているので新しい施設の必要性は全く感じない。</p> <p>関内駅前に新しいガラス張りの高層ビルが3つも出来てしまい、それらがクラシックな雰囲気とは全く違う趣のものため、関内の個性が台無しになるので非常に危機感を持っている。せめて石造りの、そこそこの高さの建物に変えられないものか。</p> <p>海外の観光地でも旧市街地と新市街とで街の顔を分けており、メリハリがあり、旧市街地をきちんと残してあるので価値があるのであって、一度旧市街地を壊してしまうと取り返しがつかないことになる。</p> <p>自らの利益を優先するあまり、クラシックな雰囲気を壊すことは将来に渡る横浜の価値を壊すことに繋がるので強く反対する。東京を見るとどこも同じ雰囲気、見た目の街ばかりになってしまい、個性がなくなつたと感じており、横浜はそのような失敗まで真似しないで貰いたい。開発をするなら横浜駅かみなとみらいに留めておき、今あるものをメンテナンスしながら活かして行く方向をお願いしたい。名建築と本で紹介されているような建物が次々と壊されていくのをみるのは本当に忍びない。東京のカーポンコピーは港町には相応しくない。港町の異国情緒溢れる雰囲気を今後も残していくって貰いたい。</p>	(3)	<p>ご指摘の通り、港町の異国情緒を感じられる街並みを生かしたまちづくりを進めていくことが重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
50	<p>「まちづくりの方向性」への意見 山下公園周辺や臨海部には、新しく高い建物を作らないでください。 風景が見えにくくなり、魅力が減少します。 例えば、横浜三塔が見えにくくなるような建物を新しく作らないでほしいです。</p>	(3)	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
51	<p>「ナイトエコノミーの取組」への意見 ヨルノヨなどの開催には賛成ですが、普段の横浜の夜景も良いので、イベントを開催していない時の横浜の夜景も横浜市内外にアピールをお願いします。 ナイトエコノミーを重視して、今以上にイベントを増やさないでほしいです。</p>	(3)	<p>ご指摘の通り、夜間景観の演出は重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性①■水際線の象徴となる街並みの形成>では、日常時において、歴史的建造物のライトアップなどと調和した、落ち着きのある美しい夜間景観を創り出していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
52	<p>山下公園とふ頭の間や東の結節点周辺がとても暗く、あまり子どもを連れていくなくありません。幼い子どもでも安心して遊べるような見通しの良い緑の広場や雨でもぬれない散歩道など、親しみやすいまちづくりを願っています。</p>	(3)	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
53	<p>近所に居住の人は、山下公園に来たら座ってくつろぎたい。そういう気軽に入れる喫茶店がほとんどなく、ましてや乳幼児が気兼ねなく入れるコンビニ、ファミレス等はマック以外にないよう思う。</p>	(3)	<p>ご指摘の通り、誰でも気軽に入ることができる施設を充実させることは重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性①■公共空間を活用した海と緑を感じられるまちづくり>では、建物低層部の店舗が、前面の空地で海と緑を感じながら飲食を楽しむオープンカフェ等を実施することで、居心地の良い空間を創出する旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
54	<p>ミナトヨコハマ、ザ・ヨコハマともいべき歴史ある地域ですが、東京方面から来る場合、手前にみなとみらい地区の臨港パークもあり、その先の赤レンガ倉庫も海に面して公園もあり、イベントも盛んで定番であった山下公園が少し淋しくなってきたように感じますが、一方一本裏の水町通りに活気が出てきた感じもします。 赤レンガ倉庫の背景にみなとみらいの夜景が重なる新旧対比が見られる絶景スポットでもあり、レトロな良さと近年人気のガーデンネックレスの花と夜はソーラーLEDを利用した新技術で演出してほしいと思います。</p>	(3)	<p>ご指摘の通り、今ある景観を活かした夜間景観の演出を行っていくことは重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性①■水際線の象徴となる街並みの形成>では、水際線とまち全体が一体となったダイナミックなイルミネーションを行うなど、国内唯一の夜間の特別な景観を演出するとともに、日常時には、歴史的建造物のライトアップなどと調和した、落ち着きのある美しい夜間景観を創り出していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

まちづくりの方向性②「今ある海辺と緑の風景と連動させた新たなGREEN空間の創出」に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方（17件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
55	<p>ジョギング爱好者として皇居周回がランナーの聖地と呼ばれるように、山下公園周辺も横浜のランナーの集まる場となりたい。 ウォーカブルと併にランナブルでもありたい。</p>	(2)	<p><第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>において、開放的なGREEN空間を活かしたランニング等の多様なアクティビティの誘発について記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。</p>
56	<p>山下公園内でのにぎわいづくりについて、山下公園で行われるイベントは楽しみにしている。もっと活用し、赤レンガ倉庫のようにイベントが増えてもいいと考える。その一方で、公園内の芝生や花緑が荒れないように維持管理を高める必要があり、そこにイベントの収益（公園使用料）が充てられるべきだと思います。</p>	(2)	<p>ご指摘の通り、山下公園でのイベント実施等さらなる活用によるにぎわい創出は重要と考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>では、開放的なGREEN空間を活かした多様なイベント、アクティビティの誘発について記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。また、いただいた山下公園に関する意見は、所管課と共有させていただきます。</p>
57	<p>特に②今ある海辺と緑の風景と連動させた新たなGREEN空間の創出として、海辺×グリーンといった取り組みが見られつつありますが、エリアによっては自然が足りないと思う部分があります。</p>	(2)	<p>ご指摘の通り、今後もさらなる自然（GREEN）空間の創出が必要だと考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性②今ある海辺と緑の風景と連動させた新たなGREEN空間の創出>では、街区側での複層的なGREEN空間の創出では、街区側での複層的なGREEN空間を生み出す旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。</p>
58	<p>モノを増やすのではなく緑を増やして欲しいです。</p>	(2)	<p>ご指摘の通り、緑を増やすことは重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>では、街区内的公共空間や広場空間、建物等に緑を増やす旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。</p>
59	<p>「複層的なGREEN空間を街区側にも生み出すこと」は、山下公園通りの既存資源の魅力を引き出すことにつながり、唯一無二の魅力ある地域の創出につながると思う。</p>	(2)	<p>ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>では、街区に複層的なまとまりのあるGREEN空間を創出し、働く人が安らげる環境や交流が生まれる場をつくることで、生産性の向上は新たなイノベーションの創出を促進する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。</p>
60	<p>「緑の軸線」については、単に南北に伸ばすだけではなく、同軸線をより太く（幅広くさせる）方向への拡大も重要であることにも言及すべき。特に、本「ビジョン」対象地域に限ったとしても、各建物の屋上の庭園化・公開空地（低未利用地）等での「生物多様性の保全」、「生き物の生息・生育空間をつなぐエコロジカルネットワークの形成」等「連続する緑の創出」は、欠かせないだろう（P.42）。</p>	(2)	<p>ご指摘の通り、連続する緑の創出は重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■生物多様性を保全し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ>では屋上庭園やポケットパークなど、都市における水や緑を創出して、生物多様性の保全に貢献する旨や、周辺エリアと連続する緑を創出して、エコロジカルネットワークを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めています。</p>

61	いま夏ですごい暑いので、海の生き物を調べながら涼しく過ごせるところがあったり、野菜を育てたりできるところがあるといいです。	②	ご指摘の通り、自然に触れ、学ぶことのできる機会を創出することは重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■子育て世代をはじめ多世代が自然に触れ、学べる場の創出>では、野菜の栽培・収穫体験ができる場づくりなど、気軽に「農」を体験できる機会を創出する旨や、自然に関するワークショップを開催するなど、多世代が学べる場を創出する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
62	③次の世代につながる緑の森を作つて下さい。	②	ご指摘の通り、次の世代につながる緑を創出していくことは重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②今ある海辺と緑の風景と連動させた新たなGREEN空間の創出>では、公共空間や広場空間、建物等に積極的に緑を増やしていく旨や、生物多様性を保全し、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
63	4(2)地区の将来像 緑に関して ニューヨーク等では気候変動対応として樹冠被覆率を目標値に定めています。 この地区でも現況の樹冠被覆率を計測し、将来目標値を定めることを提案します。 新たなグリーン空間の創出では漠然としていてよくわかりません。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
64	東京に比べてイベントが乏しく思う。 観光客は皆、中華街から山下公園に向かうので、現状全く魅力ない氷川丸のためにもデッキで夏場だけでもビアガーデンを開催して賑やかになれば良いと思う。 山下公園では若者向け以外にも、ジャズナイト、ソウルミュージック、ダンスナイト等、大人が楽しめるイベントを増やし定着していってほしい。 横浜は外国の飲食店が多いので協力してもらいインターナショナルレストラン等のイベントも開催してほしい。	③	ご指摘の通り、多世代が楽しむことのできるイベントによるにぎわいの創出が重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>では、山下公園の開放的なGREEN空間を活かしたイベントの実施について記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
65	2今ある海辺と緑の風景と連動させた新たなGREEN空間の創出については、キャンプ施設等があると嬉しいです。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
66	山下公園の魅力が活かされる街づくりを、1本入った水町通りの両側で実施することもたいへん有効的な開発ではないかと考え、水町通りを完全な一方通行とし、両サイドの歩道を広く改良して、みどりあふれるくつろげる空間づくりをしても良いのかなと思います。	③	ご指摘の通り、人々が憩える緑化空間の創出は重要と考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>では、水町通りに面してポケットパークなどの身近な緑を設け、市民や来街者が憩える居心地の良い空間を創出する旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
67	・4 1P 「銀杏並木と連続した複層的なGREEN空間を街区側にも生み出すことで、水際線の連続する緑をより魅力的にアップデート」→緑が増えるのは歓迎するが市が考えているイメージが分からぬ。大きな樹木が要る。樹冠被覆率を上げないと暑くて出歩く気にならない。ハナミズキとか花壇ではぜんぜん役に立たない。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
68	近年暑さの厳しい季節が長いので、街中至る所に街路樹を増やして暑い時期も快適な遊び場になる街、横浜にしてほしいです。ペット連れも多いので、山下公園の近隣にペット可の飲食店をもっと増やして欲しい。テイクアウトして公園で食べたりも出来たら嬉しい。キッチンカーなど、積極的に置いて、何度も来ても飽きない食事ができれば嬉しいです。とにかく暑さが厳しいので、森が必要です。みどり税があるので、季節の草花を植え、終わったら捨てる様な使い道ではなく、樹木の多い、自然豊かな街になる事を切に願います。	③	ご指摘の通り、暑い時期も快適に過ごせる場をつくることは重要であると考えております、<第4章（3）まちづくりの方向性②■WELL-BEINGな環境づくりによる、人々の交流やにぎわいの創出>では、街区の公共空間や広場空間、建物等に積極的に緑を増やすことで、夏でも快適に過ごせる環境を創出する旨を記載しています。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。また、いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
69	全体的な事として、高層ビル等は作らず、空と海と緑の街作りをして下さい。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
70	◆時間帯ごとの街づくり 素案内でナイトエコノミーについて触れられていましたが、この地域でもっと特徴を生かせるのは『モーニングエコノミー』だと思います。 休日の早朝に石川町駅から元町を通り、山下公園を通り、みなとみらい地区へウォーキングをしますが、日の出の光を浴びながら海風を感じて、朝のさわやかな空気に包まれるこの時間帯はこの地区が一番輝く時間帯だと思います。もちろん犬の散歩やジョギングをしにくる市民は朝から多く、年々増えている感触です。しかしながら開いている店はなく、モーニングが食べられるような店やおいしいスマージーやコーヒーや焼き立てパンのお店、ファーマーズマーケットなどがあれば立ち寄りたいのに、と思いながら歩いています。世の中にも「朝活」「モーニング飯」などが注目を集め、この朝の時間帯を有効活用する流れはトレンドというよりは定番化していくのでしょうか。健康志向の市民だけではなく、都内の住民も渋滞がない時間帯でスマーズに横浜へ来れますし、観光客も旅先で朝から活動したい派は増えています。 山下公園通り周辺地区で6:00頃から10:00頃までを楽しめる店やイベントを集結させ人を呼び込み、その後11:00頃からはみなとみらいや中華街や元町へ人が流れていけるような、時間帯に応じた人の流れを作り出せる街づくりがあつてもいいと思います。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
71	◆本ビジョン対象地域に限った話ではないが、「低未利用地」対策・活用法として、「ポケットパーク」の設置を紹介している(P.41)。耐震・景観等の市基準にもとづき、異質さ・違和感・不似合い感を想起させることのない街全体」の一体感を自然に受容れられるようマッチングさせたデザインとする。老婆心ながら、大阪関西万博の「2億円トイレ」の二の舞、奇を衝った異常事態が生じることのないよう、意を尽くしてもらいたい。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりにおいて参考とさせていただきます。

まちづくりの方向性③「国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入」に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方（32件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
72	山下ふ頭から山下公園通り周辺地区、それからみなとみらい地区のエリア内でロボットによる配送や、自動走行モビリティの活用、空飛ぶ自動車などの実装エリアとして、人工知能を活用した最前端な職場エリア/居住エリア/観光エリアになって頂きたいです。日本の英知・人材をここに集成し、日本のシリコンバレーになって頂きたいです。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■ビジネス・R&D（研究開発）拠点の形成>に「新たな技術やサービスの実証・実装が積極的に行われるエリアとしていきます。」と追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
73	周辺にぎわい創出のためには商業施設をさらに増やしていく必要があると思います。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>を<■観光・体験型施設・商業機能の充実>と修正するとともに、「○家族や友人と日常的に訪れたくなるような、多世代が楽しめる商業機能等を充実させます。」を追記しました。

74	「テラスモール湘南」のような、ニューヨークver施設を作るのが良いのではと思います。車で行くことができて、友達や家族と楽しく過ごすことができる。 そして、そんなモールを作ると一気に人が目的地として集まり、休憩したり、ご飯を食べたり、ひと時を過ごす滞在場所として、山下公園への流入も期待できると思います。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>を<■観光・体験型施設・商業機能の充実>と修正するとともに、「○家族や友人と日常的に訪れたくなるような、多世代が楽しめる商業機能等を充実させます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
75	東の結節点にはイオンモールなど、ホテル滞在者、観光客、そして地元民が使用できるモールが欲しいと思っています。（みなとみらい周辺を見ても、コンサートやライブ施設などの箱物が多すぎて、これ以上は不要）	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>を<■観光・体験型施設・商業機能の充実>と修正するとともに、「○家族や友人と日常的に訪れたくなるような、多世代が楽しめる商業機能等を充実させます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
76	本編P43【国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入】において、「国内外から人や企業が集まる拠点を形成します。」とあるが具体性に乏しく、方向性もいわゆるハコモノ的な発想しか書かれていないことが残念だ。「多彩な機能」の解像度を上げなくてはならない。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第1章（3）本ビジョンの位置づけ>において、「今後、周辺地区の動向や地区内のまちづくり検討の深度化に合わせて、本ビジョンを踏まえ必要となる都市機能等の具体的な検討を進めていきます。」と追記しました。
77	提案2：ストリートに滲み出す街区の文化的な賑わいを生み出す拠点を複数誘致 人や企業を惹きつける「祝祭街区」の実現には、日常的に文化的な賑わいやエンターテインメントの営みが街区にあり、それがストリートに容易に滲み出せる構造になっていることが必要。そのためには、貸しハコとしてのアート・文化拠点だけでなく、そこで創造・教育・コラボレーションが常時発生し、若い才能が出入りする、生きた文化的・創造的拠点の誘致を目指す。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■世界水準のエンターテインメントに触れられる場の創出>において、「○エンターテインメントや文化芸術の営みが公共空間や広場に滲み出されることで、誰もが気軽に文化に触れられる魅力的な空間を創出します。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
78	◆中高年の通い場 時間帯別の街づくりの話をあげましたが、世代別に盛り上がる街づくりがあつてもいいと思います。 新しい施設の多くは「ヤングファミリー向け」「Z世代向け」が大多いですが、「世代別人口割合」「自由に使えるお金」「自由に使える時間」のどれをとっても50代から高齢者にかけてをターゲットにした方が人が集まり、リピーターも獲得できるのになあ、と思います。私は50代ですが私たち世代が遊びにいける場所が横浜にはないな、と感じます。この世代が新たに始められる趣味の場、新たな友人を作れる場所、ここだけにあるショップ、この世代がきれいになれる場所などが多く点在していて発見できる街があつたらいいなと思います。今の50代はまだまだ生きます。この街へ通い続けるロングリピーターになってくれるはずです。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>を<■観光・体験型施設・商業機能の充実>と修正するとともに、「○家族や友人と日常的に訪れたくなるような、多世代が楽しめる商業機能等を充実させます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
79	赤レンガみたいな買い物などに長くいられる施設が必要。マリンタワーの内容を再考してみては。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>を<■観光・体験型施設・商業機能の充実>と修正するとともに、「○家族や友人と日常的に訪れたくなるような、多世代が楽しめる商業機能等を充実させます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。なお、いただいた横浜マリンタワーに関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
80	質の高い滞在環境の整備やビジネス・研究開発拠点の形成もまちの活性化のために必要だと思うが低層階には商業施設や飲食店を誘致するなどして、観光客や住民も楽しめるビルにてもらいたい。	②	ご指摘の通り、観光客や住民も楽しめる機能の導入は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入>では、本地区で、「新たな体験をしたい」、「働きたい」、「滞在したい」、「飲食しながら楽しみたい」、と思えるような多彩な機能を誘導し、国内外から人や企業が集まる拠点を形成していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
81	ニューヨークのブロードウェイみたいな場所になってほしいです。毎晩夜に様々なミュージカルのショーを山下ふ頭や地区内のあちこちで上演すれば、上演時間までレストランやバー/カフェで友人と談笑しながらご飯を食べて時間を過ごせれば素敵だと思う。また、ナイトタイムエコノミーの活性化の一歩になります。	②	ご指摘の通り、ナイトタイムエコノミーの推進は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③質の高い滞在環境の整備>では、横浜の夜景を楽しめるレストラン・バーの設置や、音楽の夜間公演の開催による夜間の滞在を促進させる旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
82	3地区の将来像とまちづくりの方向性、③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入には大きく賛成します。 ありきたりな商業施設を作るのではなく、なにかしら体験型の施設を作り「●●があるから横浜に行こう！」と国内外から人が集まつくるようになると良いと思います。私は県外から仕事で横浜へ移住しておりますが、横浜は住むには良い街だと感じつつ、一方で観光地としては意外と目的地が少ないのかな？と感じています。 県外から友人が来る際には鎌倉や江ノ島は目的地としてなり得るもの、それ以外で遊びたいとなると東京方面に出てしまうことが圧倒的に多いと思います。	②	ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入>では、このエリアにしかない魅力や価値を創出し、国内外から人や企業が集まる拠点を形成する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
83	当該地域は、宿泊施設や客船ターミナルなど国内外から集客できる施設があることから体験型施設の創設は、国内外から多くの人を呼び込む機能となると思う。	②	ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>では、様々なモノ・コトが発祥した本地区の歴史や文化を継承しながら、その魅力を発信するミュージアム施設や体験型コンテンツを導入する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
84	ビジョン素案で示された課題とまちづくりの方向性は的確なものであり、来街者の減少と建物の老朽化が進む中にあっては、特に「3地区の将来像とまちづくりの方向性」の③多彩な機能の導入は急務と考えます。	②	ご賛同いただきありがとうございます。<第4章（3）まちづくりの方向性③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入>では、このエリアにしかない魅力や体験価値を創出し、国内外から人や企業が集まる拠点を形成していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
85	海とか見ながらごはんを食べたり、おしゃれなホテルに泊まれるといいと思います。	②	ご指摘の通り、景色を楽しむことができる滞在環境を整備することは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③質の高い滞在環境の整備>では、美しい海などの景色を楽しみながら、買い物や食事ができる商業空間の創出や、高質な滞在環境を実現する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
86	「国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入」への意見 国内外の人が何らかの形で国内外の文化や、横浜市の歴史を知る場所を目指してほしいです。	②	ご指摘の通り、国内外からの来街者に向けて、本市やこの地区の歴史を伝えていくことは重要であると考えており、第4章（3）まちづくりの方向性①「■観光・体験型施設の充実」では、様々なモノ・コトが発祥した本地区の歴史や文化を継承しながら、その魅力を発信するミュージアム施設や体験型コンテンツを導入する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。

87	みなとみらいの開発でかなり廃れたと感じている。 なんとかするにはみなとみらいのコンサート会場、関内のスタジアム、スポーツ施設に匹敵する集客施設や大人橋に客船からの客にも対応できる特色のある商業施設が必要。	②	ご指摘の通り、多くの人を惹きつける機能を導入することは重要であると考えております。 <第4章（3）まちづくりの方向性③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入>では、この場所で、「新たな体験をしたい」、「飲食をしながら楽しみたい」等と思えるような多彩な機能を誘導することで、このエリアにしかない魅力や体験価値を創出し、国内外から人や企業が集まる拠点を形成する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
88	私は横浜市内で精神障がい者の就労支援に従事しております。 横浜の素晴らしい地区でぜひ就労支援のラボ・サロンを設置していただけたらと望んでいます。 就労支援に関する情報発信と収集活用、研究のシェアができる、気軽に利用できる空間があることで、当事者・支援関係者・企業・教育機関・医療機関他多くの方にとって当たり前にあるという市民観を醸成したいのです。 福祉施設の位置付けではなく、しかし地域包括システムの体現がなされているイメージを抱いております。自然を活かしたアートの要素を入れ、ナチュラルにサポートし合う力が育まれるいわばシンボルになれるものが相応しいのではないかと提案させて頂きます。 働く人が心豊かに職業生活を送れる社会の実現を目指したまちづくりを願っています。 生活に根ざし拓かれた横浜であってほしいのです。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
89	③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入について 例えば、宿泊拠点として顕著なみなとみらいの中心地（アパホテル・ランドマークタワーなど）とは相反し、文化的拠点（ホテルニューグランド・氷川丸など）として、【人がそこに滞在したい】よりも、【訪れたいたい】というイメージを保つ方が、魅力が温存・発展できるように思える。その意味では、【2地区の現状と課題】にある「山下公園を含めて、全体的に夜間が暗い印象を受けます。」の趣旨は、左程悪影響を及ぼすものにも思えないように感じる。それ以上に、文化的価値・ある種の【街ブランド】をより促進できる発展に期待したい。ホテルニューグランド・山下公園・マリンタワーのように、【その時代（現代）を反映した商業】ではなく、【時間をかけてブランド化するエリア】の更新を求めております。 その暁には、ハコだけ建てて内容がアップデートされていく都心の渋谷のような成り立ちよりも、より意味のある、横浜の一つの拠点として文化的発展の一端を担える街づくりに繋がっていくと考えます。【建物状況】に記載のある通り、共同住宅の増加の点は確かに課題であり、文化拠点として捉えた街には相応しくないと考えます。 単にタワーマンションを建て、居住エリアとしての価値増幅よりも、より深い更新のために、例えば旧横浜銀行本店別館のタワー利用の様に、横浜の文化・歴史温存のための敷地としてブランド化できる利用を期待したい。とはいって、歴史的建造物を今から新規で作ることには世紀単位の時間が必要な為、山下埠頭の再開発を視野に、【文化】と【街の繁栄】が融合できる発展が一番の着地と考えます。	③	ご指摘の通り、文化・歴史を継承したまちづくりを進めていくことは重要であると考えております。 <第4章（3）まちづくりの方向性①■港町ならではの歴史・文化を継承>では、港町ならではの魅力資源を活かした街並みを形成していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
90	③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入 やっぱりカジノが欲しい	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
91	・45P「上質なホテルやサービスアパートメント、レジデンス等の導入により、高度人材を呼び込む」→上質なホテルができるのは構わないが、最近のホテルは高さが高いのでそれは絶対にやめてほしい。あの場の景観に似合わない。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
92	図書館が歩いて行ける距離にあつたら最高だと思う。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
93	提案5：富裕層の観光客を受け入れる迎賓機能を 現在、横浜港へ日々入港している大型客船の富裕層の来街者が横浜の街に回遊・滞在することを促進する拠点となるようなラグジュアリーな迎賓機能があると、地域経済の成長につながるのではないか。将来的には、山下埠頭に新たなマリーナなどマリン系の拠点が作られる場合にも、主な顧客となる富裕層が立ち寄りたくなるような機能が本街区にあると良いだろう。	③	ご指摘の通り、回遊・滞在を促進する拠点となる環境を整備し、経済成長に寄与することは重要と考えております。 <第4章（3）まちづくりの方向性③■質の高い滞在環境の整備>では、上質なホテルやサービスアパートメント等の導入し、滞在の促進による地域での消費拡大につなげる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
94	素案3「地区の将来像とまちづくりの方向性」の「③ 国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入」についてです。2025年3月に休館した神奈川県民ホールの有効な活用を希望します。みなとみらいホールより収容人数が多く、オペラも興行可能な施設として、この施設の活用が期待されます。県の協力が必要となります、横浜市としても、まちづくりに欠かせない施設として、県と連携して改修あるいは建て替え事業を進めてほしいです。その際、国内外の多くの視聴者を惹きつけるためには、音響の良さが最重要となりますので、世界的に実績のある業者を選定するなど、横浜市の評価を高める施策を期待します。	③	いただいた県民ホールに関するご意見は、神奈川県と共有するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
95	◆開港直後、馬車道を始め「山下公園通り」にも、「ガス灯」が設置され、ヨコハマの街は夜間でも明るく賑やかだったと推察される。しかし市は、その歴史を受継がず・何ら継承・発展させる手を尽くさず、歴史的建造物/歴史的遺跡に安住/依存し続けてきた結果が、「夜間が暗い」現状を生んでいるのである。 「イルミネーション」「ライトアップ」「ヨルノヨ」「横浜ナイトフラワーズ」、はたまた「ナイトタイムエコノミー」ごときには、貴重な財源を浪費する前に、当該山下公園通りだけに限らず、横浜市内全域の街路において「夜間が暗い」状態を解消させるのが最優先事項であろう。 この「ナイトタイムエコノミー」についてであるが、評者は、以前にも以下のとおり意見表明している。曰く「現住市民にナイトタイムのニーズがあるのか。この人手不足のおり、夜間も就労する労働者がこれ以上必要とされることを認識したうえでの議論展開なのか。それとも、外国人労働者(力)の輸入を前提としているのならば、それをしっかり明記すべきである」と。だがいずれも、市当局から明確かつ納得できる回答は得ていない。 P.45「質の高い滞在環境の整備」も、アフターコンベンションや「ナイトタイムエコノミー」等の充実について触れている。外国籍ビジネスパーソン・観光客を想定した説明なのであろうが、市として、必要以上に媚態を呈すことはないと考える。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
96	◆P.43「観光資源を活かした体験型観光の提供」の説明文と写真は、本「ビジョン」が対象とする地区とは直接関係ない。	③	本ビジョンの<第4章（3）まちづくりの方向性>において掲載している写真は、イメージとして使用しています。

97	<p>◆P.44「世界水準のエンターテインメントに触れられる場の創出」の説明文は、「県民ホール」のことを指しているものと理解する。</p> <p>ア) 同ホールは、本「ビジョン」内に位置するので採り上げること自体は問題ないが、同ホールは「神奈川県立」であることを考えるなら、「横浜市」として自慢する程のものではないだろう。</p> <p>イ) 「オペラやバレエ等の舞台芸術を上演できる施設」だとか「身近に文化芸術」の体験だとか「表現する機会」のを創出だとかは、もっぱらMM21地区内の民間のアリーナ施設のことであり、本「ビジョン」は事実上、無関係。</p>	③	<p>「オペラやバレエ等の舞台芸術を上演できる施設」等については、本地区のまちづくりの方向性を示すものとして記載しています。</p>
98	<p>あまり行ったことがないので、家族や友だちと一緒に遊べる巨大なジャングルジムとか、かわいい写真が撮れるところとか、実写版のマリオカートができるところとか、小さい子もワクワクできるところになるといいと思います。</p>	③	<p>ご指摘の通り、来街者が楽しむことのできる体験型コンテンツを導入していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③■観光・体験型施設の充実>では、様々なモノ・コトが発祥した本地区の歴史や文化を継承しながら、その魅力を発信するミュージアム施設や体験型コンテンツを導入する旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
99	<p>「3地区の将来像とまちづくりの方向性」の中の「④来街者を迎えるための結節点としての機能強化」に関して、山下公園通り沿いに当地域にこれまでなかった規模の大型複合商業施設が必要と考える。</p> <p>みなとみらい地区がMICE誘致や音楽施設による賑わいの創出を狙っており、実際に2020年にザ・カハラホテルの開業などができた。結節点なる地域における無電柱化やプロムナードの整備やリブランディングは非常に重要になるものの、現状山下公園方面には新たな目的地となる施設が不足していると考える。</p> <p>もちろん同地域や周辺地域では、横浜中華街は大きな魅力の一つであるし、山下公園沿いの港湾都市ならではの雰囲気も人を惹き付ける魅力がある。ただ、中華街、山下公園エリアの滞在時間は限定的であると考えられ、来街者の宿泊数を延ばしたりさらなる賑わいをもたらす原因には現状なりえない。そこで、新たなる魅力の創出が必要であると考える。それが、大型の複合開発である。商業に関して重要なポイントではあるものの、メインは上層階に海外の5スター相当のホテルを誘致することと考える。5スター相当のホテルはそこに宿泊すること自体が一つの目的となりえる。高層の建物を想定するが、建物全体の外観としては周辺地域に見られる伝統的な建物の雰囲気をうまく残すことで、周辺地域との調和も図りつつ、ホテル側としても新たな取り組みとして、これまでの他国での取り組みとは違った形で集客を図ることができると考える。</p> <p>まずはそのような、街全体の魅力を作り出すよりも、個の魅力によって人の流れ、宿泊客を呼び込み先に人の賑わいを作り出してしまうことで周辺に更なる商業の需要、スタートアップオフィスのテナント需要、開発需要が増えて相乗効果をもたらすことができるのではないかと想定している。</p>	③	<p>ご指摘のとおり、この場所に行きたい、滞在したいと思えるような多彩な機能を誘導していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入>では、このエリアにしかない魅力や体験価値を創出し、国内外から人や企業が集まる拠点を形成する旨や、上質なホテルやサービスアパートメント等の導入により、滞在の促進による地域での消費拡大や恒常的なまちのにぎわい創出につなげる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
100	<p>「世界水準のエンターテインメントに触れられる場の創出」への意見</p> <p>大きな施設をつくることにお金をかけないでください。大きな施設をつくることへのお金より、横浜市内でバレエやオペラを学んでいる人への支援にお金をかけてください。横浜市内の人人がバレエやオペラをしやすくしてください。</p>	③	<p>ご指摘の通り、横浜市民の方が文化芸術体験を行いやすい場を創出することは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③■世界水準のエンターテインメントに触れられる場の創出>では、市民が身近に文化芸術を体験し、表現する機会を創出していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
101	<p>外国人の誘致については、寿司魚河岸 アニメーション(ゆるキャラはやめてください)フィギュアの展示販売、</p> <p>若者の誘致 eスポーツの国際大会施設、</p> <p>スケートボードやBMXの練習、試合のできる施設を常設、ブレイキンや、バスケなど、ストリート系のスポーツも日の当たる場所に呼び込む。</p> <p>街中にいきなり、メリーゴーランド</p>	③	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
102	<p>平日や夜間も安定した顧客を確保するには、前面が港のロケーションを生かした高層住宅が有効だと思う。</p>	③	<p>ご指摘の通り、平日や夜間も安定したにぎわいを創出することは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③■質の高い滞在環境の整備>では、上質なホテルやサービスアパートメント、レジデンス等の導入により、高度人材を呼び込むとともに、滞在の促進による地域での消費拡大や恒常的なまちのにぎわい創出につなげる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
103	<p>・抜本的な街づくりは必要だと思うが、山下公園が前面にある中では、GREENよりは観光、就労、居住、飲食をメインにした街づくりが良いのではないか。緑では遠くから人は呼べない。</p>	③	<p>ご指摘の通り、観光、就労、居住、飲食などの機能を導入していくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性③国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入>では、本地区で、「新たな体験をしたい」、「働きたい」、「滞在したい」、「飲食しながら楽しみたい」、と思えるような多彩な機能を誘導し、国内外から人や企業が集まる拠点を形成していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

まちづくりの方向性④「来街者を迎える結節点としての機能強化」に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方（21件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
104	<p>■西の結節点に関する意見</p> <p>【意見】 シルクセンターと産業貿易センターの場所は、開港広場公園と一体感のある公園緑地になるとよいと思います。日本大通りの端（横浜開港資料館の交差点）から山下公園通りまでの視覚的なつながり（港や銀杏並木の景色のつながり）をぜひ作ってほしいです。</p> <p>【現在の良いところ】 横浜スタジアム付近から象の鼻パークまで、海に向かって歩ける日本大通りはとても素敵です。海や大型客船なども視界に入り、海に向かって歩くワクワク感がとても良いです。冬のイルミネーション（トナカイのライト等）もとても雰囲気があり、素敵です。</p> <p>【現在の残念なところ】 日本大通りを歩いて横浜開港資料館の交差点まで来た時、右側（山下公園方面）を見ても、シルクセンターや産業貿易センタービルが立ちはだかっていて、その先にある山下公園の海や、山下公園通りの銀杏並木の存在を感じることができません。見た目で感じることができる導線がブチっと切れてしまっており、とてももったいないです。そのため、開港広場公園も閑散として清潔感に欠けたデットスペースになってしまっており、せっかくのロケーションが活かされておらず、とてももったいないです。なので日本大通りから先は、視界も良く魅力的な赤レンガ方面に人が流れてしまうのだと思います。</p>	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第3章（2）街並み・景観>において、広場空間の活用を地区の課題として追加するとともに、<第4章（3）まちづくりの方向性④■多様な人々が集い・交流できる空間の創出>において、「開港広場等の既存の公共空間と一体的に」広場空間を創出する旨を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
105	例えば関内駅周辺の駐車場にペイバイクやL U U Pなどを置いてもらい、観光客はそこの駐車場に停めて、赤レンガや山下公園へはシェアモビリティを活用してもらうことが環境にも回遊性向上にも良いと考える。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、「○みなとみらいや関内駅方面、元町・山手等の周辺エリアと本地区とのアクセスについて、シェアモビリティ等の交通のハブを設けることで利便性を高め、回遊性の向上を図ります。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
106	山下公園内もかなり広いため、公園内も安全なモビリティで自由に移動できるようになると子どもから高齢者まで楽しめる場所になると思います。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、「子どもから高齢者まで、誰もが移動自体を楽しめる多彩な交通を充実」させる旨を追記しました。なお、いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
107	地区内の建物そして山下ふ頭の再開発の建物群の2階を全部デッキでつながるようにすれば、香港のセントラルなどの中心街みたいにエリア開発の計画段階から巨大なペデストリアンデッキが含まれるようになり、雨の日でも濡れずにビルからビルへ移動でき、さらに駅まで傘いらずでカフェやショッピング、観光ができるような垂直な公共空間、空中歩廊は市民/観光客/ビジネスマンの活動をささえるインフラになってもらいたいです。デッキにより山下公園通りや水町通りが混雑しない歩行者空間、居心地の良い滞在空間のつながるかと思います。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、「○既存の歩行者デッキとの接続や周辺駅からの円滑な移動経路の確保、案内サインの充実など、歩行者動線のアクセス強化について検討していきます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
108	<p>（素案：4. 区の将来像とまちづくりの方向性■交通機能・アクセス強化について） 本エリアは、成熟期に入った「みなとみらい地区」と新たな開発が期待される「山下ふ頭」そして「関内・関外地区」をつなぐ『賑わいと回遊のハブ』を目指していただきたい。 そのためには、街区をつなぐ豊かで楽しい人の移動をつくる『モビリティハブ』の拠点・施設が本エリアには必要だと提案させていただきたい。街区が魅力的になることだけでなく、周辺のまちなかに人を送り出す契機にこの開発を位置付けてほしい。願わくは野毛など横浜らしい小さな町の魅力までがつながり、多くの人に知ってもらい、新たな回遊行動のハブとなる街区であってほしい。のために、広大な水際線とそこから内陸に隣接する各地区に賑わいと回遊を生み出すためには、いわゆる交通インフラを超えた、「新しい概念のモビリティがたくさん街の日常に導入」されることが重要。多種多様なモビリティ、例えば低速モビリティやエンターテインメント性のあるモビリティなどが、「山下通りエリア」を中心に「みなとみらい地区」「山下ふ頭」「関内・関外地区」を日常的に行き来している状態を目指してほしい。その実現のためには、市民目線からは「便利な場所から乗れるハブ」がポイントで複数あったほうがいいし、まちづくりに関わる者としての留意事項としては、実現のために多彩なモビリティが自由度高く走行するためのインフラ、例えばその動力源の「エネルギー供給の仕組み」や、新交通系のハブとして「整備基地（メンテナンスほか、車両を格納する場所）」が必要となる。そのような新たな産業やイノベーティブな事業者が参入したくなるビジョンを打ち出してほしい。 以上、開発をきっかけにして、本エリアを中心に周辺街区の「賑わいと回遊が向上」することを目指していただくために、本街区には「モビリティハブ（市民サービスとしての拠点および新交通サービス提供のための拠点）」が必要だと提案させていただきます。</p>	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、「○みなとみらいや関内駅方面、元町・山手等の周辺エリアと本地区とのアクセスについて、シェアモビリティ等の交通のハブを設けることで利便性を高め、回遊性の向上を図ります。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
109	提案4：社会実装が広がる横浜ならではのMaaS拠点を あそこにいきたい、ここに行ってこんな体験をしたい…という1日の過ごし方を観光客が組み立てられて、それに合わせてリーズナブルに移動交通を選択し使いこなせるような仕組みに挑戦してほしい。この山下エリアは、陸も、川や運河も、海も空も開けているので、いろいろな場所を訪れる移動そのものを楽しめる横浜になってほしい。「海上交通」や「運河交通拠点」を強化し、街からストレスなくアクセスできる新しい仕組みを取り入れる拠点になってほしい。そういう、魅力的な旅先・訪問先づくりが盛り上がるよう、工事と並行して、いろいろな方々がアイデアを出し合うような場づくりを横浜市が引っ張っていただきたい。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、「○みなとみらいや関内駅方面、元町・山手等の周辺エリアと本地区とのアクセスについて、シェアモビリティ等の交通のハブを設けることで利便性を高め、回遊性の向上を図ります。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
110	みなとみらいや関内経由でこの地区にも観光客を呼ばうとするなら、手軽な交通手段もあった方が良い。（歩くにはそれなりに距離がある）	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、「○みなとみらいや関内駅方面、元町・山手等の周辺エリアと本地区とのアクセスについて、シェアモビリティ等の交通のハブを設けることで利便性を高め、回遊性の向上を図ります。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

<p>山下公園通り周辺地区まちづくりビジョンに関する提案～“足の駅”電動車いすシェアリングステーション事業～</p> <p>1. 提案の背景と目的</p> <p>横浜市が進める山下公園通り周辺のまちづくりビジョンにおいて、「誰もが歩きやすく、にぎわいと交流を促進するまちづくり」が重要なキーワードとされています。これに対し、移動支援を通じてアクセシビリティを高めることを目指し、電動車いすのシェアリングサービス“足の駅”構想を提案します。</p> <p>2. “足の駅”とは</p> <p>“足の駅”は、電動車いすを一時的に貸し出す有人型シェアリングステーションであり、以下の特徴を有します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・歩行困難者・観光客など多様な人々の自立した移動支援 ・観光・商業施設や公共交通機関からのアクセス向上 ・周辺の歩行空間との調和を図ったコンパクトなデザイン ・専用アプリを用いた簡便な予約・利用システム <p>3. 提案の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい創出：誰もが気軽に横浜のウォーターフロントを楽しめる環境づくり ・地域経済活性化：回遊性の向上による店舗利用・滞在時間の増加 ・多様性の受容と包摂：観光地におけるユニバーサルデザインの実現 ・SDGs貢献：健康福祉、持続可能な都市づくり（目標3、11）などへの寄与 <p>4. 今後の展開と連携</p> <p>今後は、横浜市ならびに民間事業者と連携しながら、以下のような段階的展開を想定しています。</p> <p>1. 実証実験：山下公園通り・赤レンガ倉庫・大さん橋周辺への設置 2. 利便性向上：他の公共交通・観光サービスとの連携 3. 普及拡大：横浜都心臨海部全体へのネットワーク展開 5. 結びに</p> <p>“足の駅”は、多様な人々がより自由に、安心して、横浜の魅力を体感できる都市づくりを目指す提案です。山下公園通りが「誰もが自分の足で楽しめる街」となる未来に向けて、ご理解とご支援を賜れれば幸いです。</p>	①	<p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>の多彩な交通の充実において、「子どもから高齢者まで、誰もが移動自体を楽しめる多彩な交通を充実させます。」と修正しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>111</p> <p>大さん橋にクルーズ船寄港時にはバスやタクシーなどの車両が多くなるが、特にタクシーに関しては待機場所が少なく、せっかく来たタクシーがお客様を乗せずに引き返す場面を何度も見ている。近隣住民に影響のない範囲で臨時のタクシー待機場所を設置するなどして、観光客がスムーズにタクシー利用ができる環境を作ってもらいたい。</p>	②	<p>ご指摘の通り、タクシーの待機場所など交通乗降場の拡充が必要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>において、タクシー等が乗降できる交通広場等の拡充について記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。</p>
<p>112</p> <p>④来街者を迎える結節点としての機能強化としては、みなとみらい線と京浜東北線が混在しているエリアでは、かなり外国人のかたから道を聞かれることが多く、もう少し観光ガイドを強化するべきだと思います。</p>	②	<p>ご指摘の通り、外国人観光客も含めた観光ガイドの強化が必要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性④■観光インフォメーション機能の強化>では、外国人観光客にも分かりやすい情報提供を行う旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。</p>
<p>113</p> <p>また、東京駅で走るロンドンバスのような観光向けバスも増やすことで、横浜駅から山下公園にかけての町の変化も楽しんでもらえると思います。</p>	②	<p>ご指摘の通り、まちの変化が楽しめるなど、移動そのものを楽しめる交通手段の充実は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>では、グリーンスローモビリティ等、利便性が高く移動自体を楽しめる多彩な交通を充実させる旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。</p>
<p>114</p> <p>横浜駅からのアクセスはMM線やバス路線も多く、良いと考えるが、横浜駅を経由しない横浜南部のJR・京急ユーザーからすると横浜駅で乗り換えないといけないという煩わしさがある。</p>	③	<p>いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

<p>概要版2.地区の現状と課題の交通インフラについて、4. まちづくりの実現に向けて：水際線をつなぐ西と東の結節点の機能強化</p> <p>山下公園通り周辺地区は観光地であり、関内駅やみなとみらい地区、本牧地区、そして再開発が検討されている山下ふ頭にも近接しており、これらの地区を結ぶ交通の結節点となっています。しかし、渋滞やタクシー待ち、路上駐車などの問題も抱えています。脱炭素化や省エネルギーの推進、ガソリン消費・排気ガス・渋滞・駐車場問題の軽減のためにも、車両交通の抑制と訪問者の利便性向上が求められています。</p> <p>そのため、山下公園通り周辺地区と鉄道駅、山下ふ頭、本牧地区などを結ぶ新たな公共交通機関の導入が必要です。これによりアクセスが向上するだけでなく、周辺の観光地や居住地とも連携し、市全体の交通利便性が高まり、車の利用を減らすことで横浜市全体の発展にもつながります。</p> <p>従来の公共交通は建設費用が高額で、土地収用などの課題もあるため、以下のような新交通システムの導入を提案します。</p> <p>1. LRT（次世代型路面電車） 栃木県宇都宮市で導入されたLRTは、沿線人口の増加や予想を上回る乗客数を記録し、他自治体からの視察も相次ぐなど大きな成功を収めています。桜木町駅や関内駅から山下ふ頭、新山下、本牧などの鉄道空白地を結ぶことで、山下公園通り周辺を交通のハブとし、アクセス向上が期待されます。LRTは環境に優しく、利用者にとって使いやすく、海岸沿いを走ることで観光資源としての価値も高まります。</p> <p>2. 自走式ロープウェイ「Zippair」 神奈川県秦野市で実験され、福島県南相馬市で大規模実験線が建設中です。神奈川県と連携協定を結び、神奈川県藤沢市・厚木市・三浦市や北海道石狩市、宮城県富谷市はじめ各地の自治体で導入を検討しています。従来の公共交通機関と比べ低コストかつカープも可能です。ロープウェイなら陸上だけでなくYOKOHAMA AIR CABINのように海上に敷設もあります。無人運転なので昨今の運転手不足等にも対応できます。</p> <p>3. エコライド 横浜市のYOKOHAMA AIR CABINや観覧車を運営している泉陽興業が開発しており、既存の都市間鉄道駅を中心とする地域内交通システムとして開発されました。道路上空を走るので、既存道路網の制約を受けることが少なく、また定時性を確保し、高頻度運行が行えます。軽量コンパクトなので高速道路等との立体交差が容易なうえ、既存道路の中央分離帯や歩道をそのまま利用して敷設可能であるなど、従来の中量輸送システムに比べ建設費が非常に安価です。また高架軌道を走行するので、道路渋滞の緩和による大幅な省エネルギー効果が見込めます。ジェットコースターの技術を公共交通システムに発展させ、車両側には駆動モーターやブレーキを持たず、車両の動きを全て地上側から操作する方式（=地上一次型交通システム）であるため、車両重量を大幅に軽量できる点において「究極の省エネ交通システム」です。今後の導入事例として、上野動物園のモノレール跡地に建設予定です。こちらも無人運転です。</p> <p>4. 全自動無人運転車両システム「Prismo」 三菱重工が開発した「Prismo」は、回生電力の活用により省エネ運行を実現し、CO2排出量を大幅に削減します。センターガイド方式により軌道をスリム化し、インフラ建設費や保守コストも削減可能です。また、駅間の架線による給電が必要ないため架線やガイドの削減により、電気・軌道設備を点検・交換する作業も大幅に減り、保守コストも低減できます。万一の停電時も次の駅まで支障なく乗客を送り届けることができます。高架・無人運転で、景観への配慮や災害時の対応力も備えています。</p> <p>これらの新交通システムを横浜駅、桜木町駅、みなとみらい地区、関内駅などから山下ふ頭、新山下、本牧などの鉄道空白地へと展開し、山下公園通り周辺地区を交通ハブとすることで、通勤・通学・観光の利便性が向上し、横浜市全体の発展と新技術の普及が期待されます。宇都宮市のLRTのように、新交通を目的とした観光客の誘致も見込まれます。</p> <p>ぜひご検討いただけますようお願い申し上げます。</p>	<p>③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>117 大好きな横浜の山下公園エリアが魅力ある街になることを楽しみにしています。</p> <p>そのために、観光に来る方がトイレに困らないよう、誰もが利用しやすいトイレ環境を整えていただきたいです。</p>	<p>③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>118 交通は不便な所もあるが現状でよい。</p>	<p>③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>119 ④については、にぎわいと緑の軸線の、関内エリア（横浜公園）と山下公園の間をフランスのトラムのような交通手段で結び、観光しながら移動もできると来街者も迎えやすいのではと思います。</p>	<p>③ ご指摘の通り、移動しながら楽しめる交通手段を充実させることは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>では、利便性が高く移動自体を楽しめる多彩な交通を充実させる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>120 ・週末、水町通りの渋滞が多い。</p>	<p>③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>121 現在、西区に住んでおり当該地区についてはランニングなど日常的に利用しております。私が感じる現状といたしましては、イベントなどがある場合、公共交通機関の主幹駅（桜木町・みなとみらい・馬車道・日本大通りなど）からの流れはあるものの、日常的に流れはあまりない印象です。近隣に居住している方からすると平日などの散歩のしやすさはあるのでここから導線を強化することが果たしていいのかということもあるかと思います。とはいって、魅力的な街づくりを行う上で私が思う必要なことといたしましては、「④来街者を迎える結節点としての機能強化」について空間や観光インフォメーション機能の充実を優先してしまい、今の良さ（例えば、平日やイベントのない日の静けさなど）を失ってしまうのではないかという不安はあります。意外と自分の中では現状の状態がバランスが良いのではないかと感じているため、いじりすぎるのは良くないと感じました。</p>	<p>③ ご指摘の通り、地区のにぎわい創出と住環境とのバランスがとれたまちづくりが必要だと考えています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>122 地区の現状と課題 の 交通インフラ 関して。</p> <p>交通インフラの更なる整備及び周知が重要と考えます。</p> <p>山下公園周辺は、港町ヨコハマの雰囲気がよく出ている集客に大変優れた場所だと思います。一方で、横浜駅、桜木町、関内駅から距離が遠く、アクセスに難があると感じています。</p> <p>路線バスや水上交通があると記載がありますが、宣伝不足で、どこからどのようにして乗ればいいのか、外からの人間には、わかりづらいです。</p>	<p>③ ご指摘の通り、交通インフラの更なる整備は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>では、歩行者から自動車の動線などの本地区へのアクセスの強化や、必要に応じて道路空間を再整備を検討していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>123 磯子の八幡橋からの洋上アクセスがあつたらいいなと思いました。</p>	<p>③ いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>124 交通インフラの観光バスの路上待機や乗り場外のタクシー乗降に対してどのように解決するのでしょうか。</p>	<p>④ <第4章（3）まちづくりの方向性④■交通機能・アクセス強化>に記載のある通り、観光バスや高速バス、タクシー等が乗降できる交通広場等の拡充を図ります。</p>

まちづくりの方向性⑤「環境に配慮した持続可能なまちづくり」に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方（3件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
125	本牧はとても風通しが良く海からの涼しい風が通ります。 新山下町はアスファルトの熱が強く気が少ないため太陽の熱射が厳しいです。 どうか海、港から涼しい風を通してください。樹木で日差しを防いで下さい。 冬は寒くないので北風が来ても平気です。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性⑤■地区全体における環境負荷低減の取組>において、「〇建物の配置や形状を工夫することにより、海風を市街地へと導く風の通り道を確保し、市街地のヒートアイランド現象の改善等に取り組みます。」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
126	◆当「山下公園通り」だけのことではないが、今後建替え・リノベーション等をする建物の事業者・地権者は、当該建物の屋上・壁面等に「太陽光パネル」を施す。なおかつ、「緑化」を意識的に心がける。等CO ₂ 排出削減に努める必要がある。	②	ご指摘の通り、環境に配慮したまちづくりを行っていくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑤■地区全体における環境負荷低減の取組>では、太陽光等の再生可能エネルギーの利活用など街区全体でエネルギーの効率化や循環できる仕組みを検討していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
127	今ある海辺と緑の風景と連携させた新たなGREEN空間の創出について、過去に横浜市が脱炭素・省エネに関連して実践した「横浜スマートシティプロジェクト」などの取組みを最大限に活かした街づくりを再現して欲しいと考えます。勿論、華々しい活気ある街づくりが求められます。約10年前には世界一のスマートシティモデルを横浜市は発信されておりました。世界を代表する港町としていくつもの施策を掲げている中、世界一の環境創出が求められています。過去の検証・実績とともに新たなスマートシティづくりをテーマにすべきと思い投稿いたしました。ご参照のほど、よろしくお願ひいたします。	③	ご指摘の通り、脱炭素・省エネの取組は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑤環境に配慮した持続可能なまちづくり>では、街区全体でエネルギーの効率化や再生可能エネルギーの利活用を図ることで環境に配慮したまちづくりを行う旨や、サステナブルなライフスタイルを実現できるまちづくりを行う旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

まちづくりの方向性⑥「災害に強いまちづくり」に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方（8件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
128	(5) 防災 / 無電柱化について 景観向上のための趣旨に異論はありませんが、山下公園通りは海に近く低地なため、高潮、津波、大雨といった水害、地盤沈下、地震による液状化といったリスクがあり、また、埋没した電線の復旧にも時間を要する事が想定され、長期に渡り電力供給が停まる懸念があるのではと考えています。重要な施設も多いことから長期停電を回避するため、無電柱化した地域の電力インフラについて、別経路を用いた供給ルート確立、主要施設のバックアップ電源搭載等の対策が必要なのではと思いました。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥■災害に備えた都市インフラの整備>において、「電力インフラの複線化」を追記するとともに、<■市民や地域、企業等が連携した発災前の備えの強化>において、「非常用電源設備の確保」を追記しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
129	イベント実施時の災害発生に備えて、一時避難場所としてもうとともに備蓄品の保管もしておいてもらえるとありがたいです。	②	ご指摘の通り、災害時の備えは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥■市民や地域、企業等が連携した発災前の備えの強化>において、一時滞在施設や防災用品の備蓄について記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
130	中華街など密集地ゆえ災害時、どう観光客が逃げればよいのか、周知不足だ。災害に強い街づくりということを目指すのであれば、そこらへんを整理し、時には訓練するべきだろう。時折、「Jアラート訓練」があるが、見事に中華街では全く聞こえない。外国人観光客向けの災害に対しての取組も未来に入れるべきであり、また、避難ビルもどこなのか、市民はもちろん観光客の安心安全で横浜で過ごすことを何かしらの形でつくっていただきたい。	②	ご指摘の通り、外国人観光客も含めた災害に対する取組みは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥■市民や地域、企業が連携した発災前の備えの強化>では、来街者が迅速かつ正確な情報を得て適切に行動できるよう、デジタル機器を活用したリアルタイムでの災害情報の提供や、多言語対応の情報発信機能を整備する旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
131	・ 51P「災害に備えた都市インフラの整備」→これは是非やってほしい。企業の儲けのための「にぎわい創出」より、直近の課題はインフラ整備ではないか。	②	ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
132	④防災、減災の視点でまちづくりを計画して下さい。	②	ご指摘の通り、防災・減災の視点でまちづくりを行っていくことは重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥災害に強いまちづくり>では、都市インフラの整備や、市民や地域、企業と連携した日常からの備えの強化を行い、安全・安心なまちづくりを推進していく旨を記載しています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
133	山下公園といえば、関東大震災で出たがれきを集めて整地した公園と聞いている。未曾有の災害であった震災では多くの市民が犠牲となり、たくさんの家屋が火の海に飲み込まれ、横浜の街が一瞬で消えてしまったと学んだ。その意味において「災害に強いまちづくり」を主眼に据えてまちづくり計画を進めるべきと考える。山下公園は横浜港に面しており、東日本大震災では大きな津波が多くの人々を飲み込んでいたことから津波対策は必須である。震源地によるが、ひとたび津波が押し寄せる場合、公園で過ごしていた人々はどこに逃げればいいのか。港の見える公園まで登れば安心だろうが、距離があり避難に時間がかかる。近隣のビルに逃げ込むにしても多くの人々がパニックを起こしてしまうと集中してしまい安全性を確保できない。そこで提案だが、いっとき避難場所として櫓を建ててはどうだろうか。津波被害にあった東北の街に櫓を建てているというニュースを見た。ぜひ参考にしていただきたい。櫓は普段は観光スポットの展望台として活用できる。いかがだろうか。	③	ご指摘の通り、災害に強いまちづくりに向けた検討を進めることは重要と考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥■災害に備えた都市インフラの整備>では津波避難施設などの防災施設の整備を進め、地区の防災力を向上させる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
134	③①により、車両通行禁止となるため、現「駐車場」等低利用地は不要になる。あえて「駐車場」を設けるのであれば地下化し、地上部は「津波避難ビル」とする。ただし、無骨な骨組みだけの高い構造物とすることなく、外観は一般ビルの佇まいを施し、通常は近隣住民・観光客の利便を図る「商業」施設とする。それに加え、入口や階段等は広め・大きめに設ける。また地下は、通常時は駐車場として使用するが、「有事」（特に、武力攻撃・大規模テロ等の安全保障上の「有事」）の際の避難シェルターとして機能させる（当然であるが、水・食料・医薬品等は地下および高層階に備蓄	③	ご指摘の通り、災害に強いまちづくりに向けた検討を進めることは重要と考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥■災害に備えた都市インフラの整備>では津波避難施設などの防災施設の整備を進め、地区の防災力を向上させる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
135	また津波の時にすぐ避難できるような施設を考えてほしい。山下ふ頭の国際マリンのビルとかを利用できないのか。	③	ご指摘の通り、津波避難施設などの整備は重要であると考えており、<第4章（3）まちづくりの方向性⑥■災害に備えた都市インフラの整備>では、津波避難施設などの防災施設の整備を進め、地区の防災力を向上させる旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

全体に関するご意見と、ご意見に対する本市の考え方（37件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
136	「本ビジョン」の上位概念（「上位計画」）を挙げ、a) 『横浜市都市計画マスター・プラン（全市プラン）』（25.5策定）や、b) 『横浜市中期計画22-25』（22.12策定）、c) 『横浜市都心臨海部再生マスター・プラン』（15.2策定）等を踏まえて策定します——と紹介している（a)～c) の付番等は、評者）。しかしこの認識には誤りがある。最上位に来るのは、a) 「都市計画マス・プラ」ではなく、b) の「中期計画」である。これは、策定時期の関係もあるが、それ以上に、同ページの図を見れば明らかであろう。a) がb) に「整合」するよう求めている。市の扱いは、主客転倒である。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第1章（3）本ビジョンの位置づけ>に記載している上位計画の掲載順を修正しました。
137	「緑の軸線」と「水際線」 ◆「緑の軸線」：軸の起点が山下公園、終点の蒔田公園としているが、「起点」は逆の「蒔田公園」（これも問題ありだが…）とする方が自然であろう（後述）。 大学人・街づくりデザイナーによって著された「都心臨海部・インナーハーバー整備構想」（10.3）によれば、「リング状の都市構造」が述べられている。横浜港＝インナーハーバーの一点を同心円の中心として、最内部が「ブルーリング」＝「インナーハーバー」、その外側は「オレンジリング」（市街地を結ぶ新旧の道路/鉄道等交通のネットワーク）、最外周として「グリーンリング」（横浜市内の郊外部を網羅し、里山・農地・公園等の緑（緑地）の保全をもうひとつの目的として、市内各点を結んだ円）と規定している。本「ビジョン」で扱われている「緑の軸線」の“おおもと（「起点」）”は、この「グリーンリング」の一部から発出（分岐）しており、「蒔田公園」よりももっと郊外部寄りの地点であると思われる。	①	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、<第2章のコラム「都心部強化事業と「緑の軸線構想」>において、「この緑の軸線は山下公園から、日本大通り、横浜公園、大通り公園を経て蒔田公園までつながっています。」と修正しました。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
138	山下公園通り地区は、この地域の人たちだけでなく、横浜市民全体の財産といえます。特に、以下のことを強く要望します。 ①市民の意見を必ず反映してください。市民は納税者です。	①	今回の市民意見募集でいただいたご意見については、可能な限りビジョンに反映するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
139	横浜の都心臨海部の様々な街や地域がつながる一つの重要な導線なので、整備を早めに進めてもらいたい。	②	いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
140	山下公園が開園してからおよそ100年が経つ。今の山下公園は、氷川丸や、横浜港の遊覧船乗り場などの施設がたくさんあります。また、みなとみらい21地区と同じく再開発などもやって欲しい。	②	いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
141	3.地区の将来像とまちづくりの方向性については、非常に良いアイデアかと思います。すでに一つの町としての魅力がたくさんある中で、地区ごとのコンセプトが明確にされていてわかりやすかった。	②	ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
142	「3地区の将来像とまちづくりの方向性」の①②⑤についてですが、このエリアの開発についてはたいへん賛成です。	②	ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
143	まちづくりビジョンを楽しみにしています。応援しています。	②	ご賛同いただきありがとうございます。引き続きまちづくりの検討を進めていきます。
144	◆「緑の軸線」×「水際線」の「終点」（これをP14の図で説明すれば）は、大さん橋の根本/開港広場交差点で両者が交差した後、並行して山下ふ頭に進んでいく。	②	ご指摘の通り、本地区は水際線の一部を形成する地区であるとともに、大通り公園、横浜公園、日本大通りから連続する緑の軸線と水際線が交わる所に位置しています。
145	山下公園通り地区で働いています。 東西の結節点の機能強化を図ることは本当に大切だと考えます。 そのため、施設の複合化や共同化を含めた事業手法を早期かつ具体的に検討し、一日も早く新しい街づくりを進めてください。	②	ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
146	まずは、当該エリアに関してビジョンを策定し、将来に向けて前向きな議論が行われることは大いに評価したい。 当該エリアは、地元住民、観光客ともに横浜を象徴する場所のひとつと認知はしているものの、建物の老朽化はもちろん、それを凌駕できるような現代的な整備が行われておらず、特に観光客にとって魅力的とは言えない。 水際線の魅力を高めるとの方向性は正しいながら、地元住民の生活利便性やアフターファイブも含めたビジネス環境など都市の基本的な機能も高める必要もあり、新たな住宅整備も含めて、残すべき「資産」は残し、失われた景観や環境を再生し、さらに新たな魅力付けに向けて、幅広い知見を集約し、柔軟なビジョンとして昇華させていただきたい。	②	ご賛同いただきありがとうございます。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
147	・長く山手に住んでいたので馴染みのあるエリアだが、年々にぎわいがなくなり寂しくなってきていると思う。	②	ご指摘の通り、本ビジョンにおいても、地区のにぎわいが低下傾向であることを課題の一つとして捉えています。いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
148	・遠方からの友人を案内できるような街になることを期待しています。	②	いただいたご意見も踏まえながら、本地区のまちづくりを進めていきます。
149	また、禁煙の分煙環境もしっかり取り組んでいただきたいです。単に禁煙を進めるのではなく吸う人も吸わない人も快適に過ごせるようご検討ください。 そして、それらが誰にでもわかりやすく伝わるよう情報を見る化してください。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
150	横浜駅～みなとみらい～臨港パーク～ハンマーヘッド～赤レンガ～大さん橋～山下公園～山下ふ頭～中華街～元町～山手の観光地化の中心的な街づくりを進めて頂ければと思っております。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
151	・基本あの場所をいじる必要を感じない。規制緩和してはダメ。海沿いに高層ビルを建てることは絶対にやめてほしい。あのあたりは液状化危険度が高いと概要版にもあった。危険だし、ヒートアイランド現象を起こす。 ・あれもやりたいこれもやりたいと盛沢山すぎる。そんなに広くない場所なのにすごく窮屈になると思う。 ・どこもかしこも賑わいを求めるのはやめてほしい。賑わいと落ち着いた空間は同居できない。山下公園通り周辺は落ち着いた大人な街がいい。	③	本地区は、1980年第以前に建築された築40年以上の建物も多く、低未利用地もあり、既存建物や土地の更新時期を迎えていくことが想定されます。こうした機会を捉えて持続可能なまちの発展を実現するために、本地区の未来を見据えたビジョンを策定し、計画的にまちづくりを進めていく必要があります。 いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
152	まちの個性や活力を高めるためには、水平だけでなく垂直方向の空間も柔軟に活かす発想が重要だと思う。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

153	素案の「4 まちづくりの実現に向けて」では、結節点となるエリアが東西に示されていますが、いずれも神奈川県、横浜市が一部の土地を所有し協調して整備してきたエリアです。特に、西の結節点に位置づけられたエリアでは、神奈川県民ホールの再整備が予定されていることから、これにあわせて、エリア一体でのまちづくりを進めることが効果的であり、今後のまちづくりについても、県・市に主体的に関与して頂くことが重要であると考えます。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
154	山下公園周辺は、市民の憩いの場にもらいたいです。 お金を払わないと、何もできないような施設ばかりを作りたくはりません。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
155	今ままの、山下公園周辺のまちづくりでは、関わる人と法人にだけメリットがある計画に思えます。	③	本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
156	「本ビジョン」の策定は拙速ではないだろうか。同じ図によれば「都市計画マスプラ」の下に「区別プラン」を置くことになっているが、本説明文では「中区まちづくり方針」（20.3策定）「関内・関外地区活性化ビジョン」（20.3策定）を飛び越え、c)「都心臨海部マスプラ」をもって来ている。これがミソだ。評者が問題とするのは、「中区方針」等が無視された云々ではない。市があえて「都心臨海部マスプラ」を掲げたか、その隠れた意図を見るからである。つまり、「同マスプラ」には、「IR=カジノ」の誘致促進が堂々と謳われている。しかも再改定されずにいるのだ。「本ビジョン」は、IR「同マスプラ」に「整合」することを強制されるのである。当該文言が「本ビジョン」内に記載されているか否かが問題ではない。市にとって、カジノは「過去の話」ではない。新市長によりカジノ中止が宣言されても、市の公式文書として紛れもなく生き続けている、このことこそ重要。今般、その意志を受け継がせるため「本ビジョン」の策定を急ぐのであろう。「本ビジョン」策定を急ぐもうひとつ理由。「既存建物や土地の更新時期を迎えてい(る)」（P2）とあるのは事実であろう。まず一つ目は、老朽化を最大の理由としている「県民ホール」の同一敷地内での建替えのため休館（25.4）問題がある。県によると、休館を発表したのは2年前（23.6）。「…横浜市のまちづくりのビジョンについては昨年度中（24）につくる方向で進んでいると聞いていた。…1年先とか2年先ということはないと思われる…」（県民ホール再整備委議事録）と事務局側は説明している——といった具合で、横合いからセッつかれていたのである。	③	本地区は、1980年第以前に建築された築40年以上の建物も多く、低未利用地もあり、既存建物や土地の更新時期を迎えていくことが想定されます。こうした機会を捉えて持続可能なまちの発展を実現するために、本地区的未来を見据えたビジョンを策定し、計画的にまちづくりを進めていく必要があります。
157	◆「山下公園通りに面して建物の壁面が連続…」に関わっては、60年前の飛鳥田市政時代に構想された、6大事業を含む「都市デザイン」の考え方方が大いに参考になるし、参考にすべきである。「低層部」云々とは、あさましくも、建物の高さ制限の緩和（高層化）を意図しているのではないだろうか。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
158	②同地区は、非「住宅」とする。つまり、「公共」「文化」「業務」「商業」「宿泊」に特化する。上記以外は認めない。同地区内の「住宅」は、「認めない」ことにより同地区的後方地域、あるいは他地域に移転すべきである。この際、移転費用（立退き料）は、原住地地価と移転先地価の差以外は考慮せず、当該事業者の責任とする。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
159	⑦P28は、「山下公園通り」の「業務機能」の解説（のつもり）なのだろうが、説明文や用いたグラフのうち「関内地区」とされているのは、当地以外を含めた「JR関内駅地区」の実状が圧倒的であろう。それにより、当地区的「事業機能」の（脆弱な）実態を覆い隠す役しか果しておらず、不適切である（削除すべき）。	③	本地区は関内地区に含まれているため、当該データを掲載しています。
160	⑧「住民特性（山下町）」（P30）を述べている。当地居住前の居住地が「国外」である人の割合（15.6%）とか、総人口に対する当地の外国人比率（17.1%）とか、本邦以外の国籍出身者が多く住んでいるんだ、ということを強調したいのだろうことは想像がつく。確かに、地区内の「再開発」を行なっていく上で、施行（施工）側=市は、「日本人として、日本国籍の両親から生まれ、日本で教育を受け・生活を続けたてきた人（市民）」に対するよりも、本邦以外の出身者の理解・同意を得るのは容易ならざることは、想像がつく。しかし、ここまで執拗に・クドクドと「数字」まで挙げて説明する必要はあるのだろうか。	③	本地区的まちづくりを検討する上で、住民特性を把握することは重要であると考えております。当該データを掲載しています。
161	⑨「地区周辺の開発動向」をP31に示している。「関内駅周辺地区」「MM21地区」「山下ふ頭地区」を採上げ、周辺では開発が急速に進むから、当地区も「整合を図りながら街づくりを進めていく必要がある」と、「再開発」を急がなければ立ち遅れる、と危機感をあおっているだけ。	③	「地区周辺の開発動向」は、周辺地区的まちづくりの動向を踏まえ、整合を図りながら本地区的まちづくりを進めていく必要があると考えているため、掲載しています。
162	(2)水町通り（山側）について、 本地区が、本「ビジョン」の範囲に入るか否かは、まったく曖昧である。本「ビジョン」内にも数ヵ所「水町通り」との表記が出てくるが、扱い箇所によっては、あたかも当地が別扱いの様にも感じる…。	③	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。
163	◆「水際線」：臨港パーク-赤レンガ倉庫-象の鼻パーク-山下公園-山下ふ頭。と解説されている（P34）。 この両者（「緑の軸線」と「水際線」）が交わる点は、「大桟橋」近辺であろう。ここから以降（以東）、両者は並行して山下ふ頭に向かうことになる。 今般の「意見募集」の対象となる「山下公園通り」とはやや掛け離れる部分-山下ふ頭あるが、一体であるので触れておく。上記「水際線」の「起点」についてである。本「ビジョン」では、「臨港パーク」として。が、そんな中途半端な場所が「起点」ではない。瑞穂ふ頭以北、つまり、-出田町ふ頭等-大黒町-大黒ふ頭（内湾）-ベイブリッジ-本牧ふ頭（内湾）-山下ふ頭。…これを総合すれば、横浜港をグルッと一周、円を形作ることになる。事実、本「ビジョン」においても「ベイブリッジを車で渡る来街者・クルーズ客が、海から横浜を眺めて、ここが横浜だと実感できるような「水際線」の象徴となる街並み…」（P38）と記しているのだから、間違いないだろう。 当該「円」は、ご存知“インナーハーバー”である。一步譲って「ウォーターフロント」との条件を付ければ、いわゆる「起点」は、ベイブリッジ（スカイウォーク）になるか。	③	本ビジョンにおける水際線とは、臨港パークから赤レンガ倉庫、象の鼻パーク、山下公園、そして山下ふ頭へとつながるウォーターフロントを対象としています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

164	◆P31-P33「地区周辺の開発動向」は、当「山下公園通り」の「街づくり」には、直接関係がない！借りに「一体的(再)開発をするうえで関係あり」、「(再)開発コンセプトがカプラなうように調整するうえで必要」とするならば、あえて「山下公園通り」だけ切り抜いた本「山下公園通りビジョン」など不要であろう。「結節点」として「関係あり」とするならば、本当の意味での結節点の「閑内・閑外地区」と「山下ふ頭」と「本町通り」くらいであろう。	③	「地区周辺の開発動向」は、周辺地区のまちづくりの動向を踏まえ、整合を図りながら本地区のまちづくりを進めていく必要があると考えているため、掲載しています。
165	◆上記同様P35「結節点におけるまちづくり」も、「山下公園通り」には関係がない。同コラムのうち「【山下公園通り周辺地区】」をここで取り上げる必要はない。（必要があるとすれば、他のエリアにおける「ビジョン」での紹介程度だろう）	③	本地区のまちづくりにあたっては、都心臨海部の各結節点におけるまちづくりを連動させ、まち全体を活性化していくことが重要であると考えているため、掲載しています。
166	◆P37（下部）、P38（下部）、P39（上部）、P40（最下部 キャプションには「界隈性のある通りの形成（水町通り）」とあるが…俄かには信じがたい）、P41（下部）、P42（下部）、P43（中部）、P44、P45（中部）、P47（中部）、P48（中部）、P49、P50（中・下部）等で使用されている「【イメージ】写真等」は、本「ビジョン」とは全く関係がない。むしろ、本「ビジョン」を見る市民に誤解与え、錯覚をもたらせるだけであり、有害である。	③	本ビジョンの<第4章（3）まちづくりの方向性>において掲載している写真は、イメージとして使用しています。
167	◆大した問題ではないが、P34掲げた写真地図で「黄色の矢印」で示された“山下公園通り地域への来街経路”的うち、一番左の、本牧・三溪園方向からの「矢印」のキャプションがなぜか「東京方面から」となっている。当該地図は、「海側」から見た図なんですけど。	③	当該矢印は、首都高速道路を経由した、東京方面から本地区へのアクセスをイメージしています。
168	2地区の現状と課題>防災について ここに記載されていませんが、海風とビル風により風がとても強い日があります。風対策も検討頂きたい。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
169	基本的には計画は賛成でございますが、まちづくり活性化に付随する事なので、ご要望がございます。 現在の山下公園通りの地区計画による建築規制では建て替えが困難である。山下公園通りの地区計画は、1~4階が店舗で5階以上が住宅の規制となっておりますが、2階以上から住宅を建築可能に用途変更していただきたい。	③	<第4章（3）まちづくりの方向性③■質の高い滞在環境の整備>では、上質なホテルやサービスアパートメント、レジデンス等の導入により、高度人材を呼び込むとともに、滞在の促進による地域での消費拡大や恒常的なまちのにぎわい創出につなげる旨を記載しています。また、<第3章（3）建物現況>では、地区ににぎわい創出と住環境とのバランスの取れたまちづくりが必要である旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
170	素案、見ました。 このアイディアではほんと人が来るのか不安です。 具体策が足りない気がしました。	③	<第5章■水際線をつなぐ西と東の結節点の機能強化>では、今後、周辺地区の動向や地区内のまちづくり検討の深化に合わせて、地区に求められる都市機能等の検討を進めていく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
171	②この地区にこれ以上の超高層ビル群は建築許可しないで下さい。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
172	・仕事で不動産関連融資を担当しているが、現在はコストとベネフィットが均衡しづらい状況なので、すべて民間任せでは街づくりは進まないと思う。	③	本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

その他のご意見と、ご意見に対する本市の考え方（40件）

意見番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方
173	⑤同地区内の「1980年以前竣工の建物」（「シルクセンター」「産貿センター」「県民ホール」「戸田記念館（旧英国七番館）」「創価学会文化会館」「ホテルニューグランド」「マリンタワー」「ホテルメルパルク」）に関して、各事業者・地権者の責任において、耐震・景観等市基準に準拠した構造物に早期・確実に改修・建替え・リノベーションを行わせる。当該事業が困難な場合は、現構造物を解体のうえ、安価にて市に譲渡させる。	③	本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
174	②同地域内の「1980年以前竣工の建物」（「横浜地方合庁/横浜合庁」等2棟、「業務」施設「インペリアルビル」を含む2棟、「住宅」施設3棟）に関しては、上記⑤同様、各事業者・地権者の責任において、耐震・景観等市基準に準拠した構造物に早期・確実に改修・建替え・リノベーションを行わせる。当該事業が困難な場合は、現構造物を解体のうえ、安価にて市に譲渡させる。	③	本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
175	公園通りは横浜でも重要な場所なので、利益だけを考えて出店するような会社（特に外資系）は遠慮してほしい。	③	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
176	山下公園ハイツの住民です。当マンションが築50年以上経過し、耐震面も含めて心配しておりますが、今後建替え視野に入れて検討したいですが、住民の半数以上がご高齢のため、総会を開く際に、建替え希望者の声が上がっても、みなさんが年金暮らしのため、費用負担が事実上無理のため、マンションの建替えは不可能な状態が続いております。山下公園通り地区まちづくりビジョンのエリア内に位置しており、横浜市の方から当マンション及び周辺ビル/駐車場/マンション/などのエリアの大規模な再開発案をとても期待しております。再開発なしでは当マンションがかかえている問題が永遠に解決できないと思います。当マンションが歴史的にも「旧外国人居留地29番地」に所在しており、現在さびれていく姿が心苦しく思い、ぜひ横浜市による再開発でもう一度過去の栄光を取り戻して、いろんな国の人々が集う、横浜の顔、強いと言えば、日本の顔になる場所として変貌してほしいです。	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
177	山下公園内のベンチは老朽化しているため、歩行空間の整備とともにリニューアルしてもらいたいです。また、既存のベンチ以外にも寛げたり、休憩したりできる空間が増えると良いと思います。夏は緑とともに日陰の下で休める空間が増えると良いと思います。	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
178	赤レンガパーク周辺は週末には車で訪れる方が多く、昼前になると駐車場は満車状態になっている。半径1キロ圏内くらいの空き駐車場を案内するなどして、混雑の緩和を促してもらいたい。	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた赤レンガパーク周辺に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。

179	<p>新たな桟橋が石川町や元町できるということなので、横浜駅から山下公園を通り、そのまま外海を回らずに、元町の方まで安全で船で行けるように、山下ふ頭内に運河や橋・桟橋ができると良いなと思いました。そうすることで堀川・中村川・大岡川と内港地区を安全に周遊できる水上交通ルートができると嬉しいです。</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた山下ふ頭に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。</p>
180	<p>概要版「3地区の将来像とまちづくりの方向性」の②について海を感じる山下公園とございますが、みなとみらいと大きく捉えた時に観光、インバウンド拠点として国内外から注目されていますが、「海が活かされていない」「水辺に親しめない」「海が汚いイメージがある」といった課題が存在し海を感じるガリゾートのような海を感じという意味ではないと思います。なのでそこに都市型ビーチ（人工砂浜）という案はいかがでしょうか。景観、滞在価値の向上、環境意識の醸成、そして地域の新たな象徴を生む可能性があります。</p> <p>まちづくりビジョンとして山下公園を含む</p> <p>みなとみらい 未来型ウォーターフロント・リゾート</p> <p>◎基本コンセプト</p> <p>水辺を活かし、海に開かれたまちへ 訪れたくなるアーバン・ビーチを中心、水、自然、市民が共存するまちへとします。</p> <p>人工砂浜や海水循環・ろ過装置（クリーン化）+マイクロプラスチック除去技術、足洗い場、シャワー、ウッドデッキ、ビーチカフェ等を併設など課題はあると思います。</p> <p>夜の景観が良くないというのも、ナイトビーチライトアップができると思います。</p> <p>またSNS映えや外国人観光客の誘致、横浜市が強い浜辺のイベントの連携など高級ホテルの創設や飲食店など新たなラグジュアリーブランドとして魅力が出せるかと思います。参考までに。</p>	④	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
181	<p>山下地区に限らず横浜市全域への提案です。横浜市内の移動はおかげさまで、シルバーバスを利用して楽しんでいます。ところが、すべてのバス停にベンチが設置されているとは限らないのが残念です。そこで提案です。市民からベンチ1台分の寄付を募り、そのベンチには、自分の希望する言葉をつけて本人が希望するところに市が仲介して設置するのはいかがでしょうか？例えば「誰々との美しい思い出のために。誰々より」とか「私の好きな言葉は、「ありがとう」です」とか本人と市が相談して適当な言葉をベンチに記載して設置する「愛のベンチ」運動はいかがでしょうか？</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

<p>「山下公園通り周辺地区まちづくりビジョン（素案）」への意見 横浜らしい海の玄関口としての「公設ヨットハーバー」整備を 本意見は、横浜市が策定中の「山下公園通り周辺地区まちづくりビジョン（素案）」における「まちづくりの方向性—横浜の水際線の魅力を生かしたまちづくり」（P.37）や「国内外から人や企業を惹きつける多彩な機能の導入」（P.43）に基づき、市民の立場から具体的なまちづくりアイディアを提言させていただくものです。海外の港湾で、海を身近に感じた豊かな生活、多様な価値観、そしてまた訪れたいという憧れを感じるものとして、ヨットハーバーが挙げられると思います。横浜にも以前よりヨットハーバーはあるものの、観光資源や観光客にアピールするものとはなっていません。よく似た港町である神戸ではスーパーヨットを対象としたハーバー建設が進められていますが、横浜ではあえて市民や観光客に馴染みやすい公設ヨットハーバー及びフィッシャーマンズワーフなどの関連施設を建設することで、水際線の回遊性を高めることができます。山下公園からヨットハーバーが眺められ、豊かなヨットライフを横浜の一つの価値として内外にアピールできれば国際的な観光資源として有効活用できるものと考えます。</p> <p>1. 【提案の骨子】公設ヨットハーバーを新たな都市機能として整備 山下ふ頭や山下公園前の水際エリアにおいて、観光・市民交流・国際性を兼ね備えた、公設のヨットハーバーを新設することを提案します。このヨットハーバーは、単なる船の係留地に留まらず、次のような複合機能を持つ「都市の海の玄関口」として構想されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平日・日中に市民や観光客が参加できるヨット体験・セーリング教室 ● 夜間・週末に開催される海上イベントやクルーズプログラム ● 港町ならではの景観を活かした憩いと交流のデザイン ● 国際的なマリンイベントや大会のホスト会場としての活用 <p>2. 【整備候補地】山下ふ頭北側エリア 提案の立地候補としては、現在再開発が予定されている山下ふ頭北側の未利用岸壁エリアを挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本エリアは、山下公園・赤レンガ倉庫・大さん橋・中華街との接続性が高く、「広域観光ルート」のハブとしても期待されます。 - ビジョンに示されている課題「夜間景観」を明るく魅力ある街にすることや、「歴史・文化的継承との共存」を具現化する場として、象徴的な役割を担えます。 - さらに、湾内の波も穏やかで、ヨットの係留や初心者向けの体験セーリングにも適しています。 <p>3. 【導入による主な効果】 (1) 海と街をつなぐ観光インフラの強化 ● 国内外からの観光客に向けたクルーズ付観光やナイトイベントなど、「海上から楽しむ横浜」の新しい価値を創出。</p> <p>182 ● 日本、および海外の主要港湾でのヨットハーバーの持つステータスを獲得し、観光資源の価値を増大 (2) 水際空間の魅力向上と地域回遊の促進 ● 桟橋沿いのカフェ、緑道、浮桟橋を含むデザインにより、歩いて楽しい空間に。夜間のライトアップや船の明かりが新たな景観資源に。（参考例:サンフランシスコやニューヨーク、シドニーなどのフィッシャーマンズワーフ） ● 現状の水際線の回遊性を向上（東の結節点の魅力増大） (3) 教育・環境・防災機能との融合 ● 市民・学生向けのマリン体験、環境保護イベント、防災訓練用桟橋など、「使える公共インフラ」として多用途展開が可能。</p> <p>4. 【他都市の成功事例】 海外の港湾において、印象に残り、観光資源として有効に活用されている事例として下記を参考までに記載します。 - サンフランシスコ:マリーナが観光と市民の憩いの場となり、「歩ける港まち」として世界的評価を獲得。 - バルセロナ:港湾再開発と連動し、観光・地域経済・市民利用の好循環を実現。 - モナコ:国際イベント誘致と連動し、ハーバー自体が高付加価値観光資源に。 これらに共通るのは、「港が特権階級のための閉じた場所ではなく、市民と観光客がともに楽しむ“開かれた水辺”」であることだと思います。モナコは富裕層が存在することが前提となっている面もありますが、観光資源としては成功している事例だと思います。</p> <p>5. 【課題とその対策】 過去にも横浜港にはヨットハーバーがあり、また、現在も残っているものもありますが、観光資源として活用されているとは言えない状況だと思います。一方、過去のハーバー移転には港湾の課題解決の側面もあり、今回の新設についても課題があると思います。下記は一例ですが、前向きにご検討いただければ幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 【課題1】整備コスト → 官民連携や港湾利用料を活用した財源スキーム設計 - 【課題2】環境負荷 → 水質モニタリング等で持続可能性確保 - 【課題3】公平性 → 市民向け無料体験・教育プログラムを組み込み「誰もが使える港」へ - 【課題4】本船運航障害 → ヨット利用水域・水路を明確にし、本船運航の障害を回避 <p>6. 【最後に】 横浜らしい海の都市像を未来へとつなぐ鍵として、公設ヨットハーバーの建設を、改めて市民の声として正式に検討・推進すること強く望みます。「山下公園通り周辺地区まちづくりビジョン」を、国際的に魅力的な内容に拡充する一つの要素として捉えていただき、ぜひ実現していただきたいと思います。ご検討いただけますよう、よろしくお願ひいたします。</p>	<p>④ いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>183 解読不能・未記入</p>	<p>④ -</p>
<p>184 山下ふ頭には「江の島天然温泉」のように、プールと温泉があれば最高です！</p>	<p>④ 本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた山下ふ頭に関するご意見については所管課と共有させていただきます。</p>

185	山下ふ頭開発も併せて進めてもらいたい。	④	山下ふ頭を含め、地区周辺の開発動向を踏まえ、整合を図りながらまちづくりの検討を進めていきます。
186	開発に着手すると相応の期間空地や工事中の物件が増えるので、山下公園その周辺の賑わいが連続するよう、囲いも工夫してもらいたい。	④	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
187	地区内に位置する山下公園ハイツの区分所有者ですが、住民の大多数はご高齢のため、先月開催したマンションの総会では、来年実施予定の大規模修繕工事の予算が最低限のものに止まり、半世紀以上建っている旧耐震物件にとってはとても満足出来るレベルの修繕工事内容とは言い難いものです。住民達の大半はご高齢で年金を頼りに生活しているため、自力ではマンションの建て替えは現段階においては絶望的な状況です。横浜市などの行政からぜひマンション及び周辺近隣物件も含めた大規模な再開発案を住民達に今後ご提案できればマンション強いては山下公園周辺街全体の再生に繋がると思います。どうかご検討のほど宜しくお願ひ致します。	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
188	素案「3、地区の将来像とまちづくりの方向性」の「②今ある海辺と緑の風景と連動させた新たなGREEN空間の創出」について、山下公園の暑熱対策を要望します。 ここ数年の6月下旬から9月までの真夏の山下公園は木がない場所は暑すぎて昼間は日傘なしでは歩けないです。眺望を遮らない程度に木を増やしたほうが良いのではと思います。近所に住んでいますが、夏は暑すぎて歩けないので、散歩は日陰の多い、港の見える丘公園か元町公園に行きます。真夏でも山下公園を楽しめるようになるとよいです。木はオオスジアゲハやナミアゲハの食草になる、クスノキ、タブノキ、カラスザンショウ、柑橘類などがあると公園花壇がバタフライガーデンになって楽しめると思います。水場もあれば蝶や鳥たちが吸水できます。	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
189	山下公園通り周辺のトイレも和式から全て洋式にして欲しい。また、休憩スペースも新たに設けて欲しい。	④	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
190	解読不能・未記入	④	-
191	解読不能・未記入	④	-
192	東京方面からの動線としては高速道路の出口を山下ふ頭内につくるなど直結できるとより良いと思います。駐車場も少ないように思いますので、船上に駐車場をつくり、車は船で、人は歩いて臨港パーク方面に行けるなどの工夫も面白いと思います。石川町方面からのアクセスも中村川を運河として使い、船内も楽しめるような移動手段があると良いと思います。 このエリアの開発は山下ふ頭の開発には欠かせないものと思いますので、山下ふ頭に来てもらうための結節点としてふさわしい開発をお願いいたします。	④	本地区は、関内・関外地区と山下ふ頭の結節点に位置しており、本ビジョンにおいても、各地区をつなぎ、来街者を迎える玄関口としてふさわしい機能を充実させなど、結節点としての機能強化を検討していく旨を記載しています。いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
193	・水町通りや海岸協会通りに面した建物は、細分化された土地のまま乱開発されて来ている。界隈性や特徴のあるまちづくりのためには、土地の最低面積や1階2階に店舗等のにぎわい施設の導入、住宅用途の面積制限などのルールを定めた地区計画等にて乱開発に歯止めをかけて欲しい。	④	水町通りから本町通りのエリアについては、横浜都心機能誘導地区建築条例の対象範囲であり、業務・商業機能と居住機能との調和を図る地区（商住共存地区）として指定されています。いただいたご意見については、今後のまちづくりにおいて参考とさせていただきます。
194	インバウンドで山下公園も様々な人が溢れています。喫煙や立入禁止中の芝生での宴会などについて、英語やその他言語などでも放送をして欲しいです。（または警備配置）	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
195	マリンタワー・シャトルバス？ともに工事期間が悠長すぎると思います。もう少し迅速にして欲しい。	④	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
196	水際のひらけた空間を守る事が大事。 闇雲にハコモノは作らず、安全に散策出来る公園の維持が大切です。 夜の山下公園は足元が見えず怖いこともあります。イルミネーションよりも歩きやすさを優先した公園にして欲しいです。	④	本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいた山下公園に関するご意見は、所管課と共有させていただきます。
197	私は、素案には書いてなかったのですが、（見落としていなければ） 「スポーツ賭博」の誘致は止めてもらいたいと思っています。 カジノ誘致を止めたのに、なぜまた賭博を誘致するのか、理解できません。 そして、「スポーツベッティング」と表現するのも、止めるべきだと思います。 ご存じの通り、Betとは英語で賭博です。それをベッティングと表現し また、「スポーツ」と混ぜると、なんだか健全なイメージになるように思います。 誤魔化しているように感じます。	④	本ビジョンにおいては、スポーツベッティング等に関する記載はございません。
198	④「ザ・ゲートホテル」裏の低未利用地については、所有事業者・地権者に対し、市が構想する計画下で適合する土地利用に適合するよう、所有事業者・地権者の責任・経済的負担において土地利用の高度化を促す。	④	本ビジョンは、市民、地域団体や事業者などと共に本ビジョンを踏まえた取組を推進することで、より一層魅力的で活気ある地区として発展させていくことを目指しています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
199	⑥山下公園通りでの観光バスの待機・タクシー乗場以外の場所での乗降問題（P20）は、 ア) JR桜木町駅構内（バスターミナル）の地下に駐車場を設け、観光客の乗降・乗換を促し、レンタサイクル等あるいは、上記①市営バスあるいはLRTの利用により、当該地域に導く。 イ) 恵比須町-本牧ふ頭間（10.5km）を結ぶ計画で、現状、瑞穂地区-MM21地区-新港ふ頭（3.2km）間はすでに通じているはずの地下道=「臨港幹線道路」（10年以上、計算の仕方によっては40年以上放置され続けている）を早期に完工させる。同「臨港幹線道路」の「山下ふ頭出口（仮称）」付近に、観光バス等専用の乗降場・駐車スペースを設け、ア) 同様、観光客を徒步・市営バスあるいはLRTの利用により、当該地域に導く。	④	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

<p>(3) 海岸教会通り（山側）について、 本地区は、「本ビジョン」の対象外の可能性が高い。評者の知る限り、市が策定する各種「計画」や「エリア別マスタープラン」において、同地区が特定のエリアとして扱われていない。かと言って、近隣地区（「本町」など）にも含まれていない。したがって、「一体性」から考えれば、ここ（山下公園通り）で扱うのが妥当と考える。</p> <p>①上記(2)①において、「水町通り」を、西（桜木町・港広場交差点）側→東（山下ふ頭入口）側への一方通行（下り線）としたので、「海岸教会通り」は、東→西（上り線）の一方通行とする。上記同様、下り線も一定の時間外の積載2t以上の車輛の通行は終日不可とする。</p> <p>②同地域内における「1980年以前竣工の建物」（「住宅」施設1棟）に関しても、上記①⑤同様、早期・確実に改修・建替え・リノベーションを行わせる。</p> <p>③本地区内の駐車場等「低未利用地」は、所有者・地権者の責任において、駐車場は地下化させ、地上部は、高度利用化するよう検討させる。市は、財政的負担を最小限にとどめる範囲内で、同方向に向けた支援をする。</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>いずれにせよ、横浜市が「本ビジョン」で当該「起点」を、「臨港パーク」としたのは、在浜米軍基地=ノースドックが居座る「瑞穂ふ頭」に触れたくない・隠したいからであろう。同基地の返還なくして横浜港（インナーハーバー）の一体的（再）開発は、いつまで経っても実現不能である。</p> <p>「市山下ふ頭再開発検討委【答申】」（24.12.26）においても、「目指すべき姿①世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間の創造」の中で、「『緑の再生』を核とし、臨港パーク→山下公園間の水際線と連続したまとまりのある緑化空間を創出し、人々を呼込み、デスティネーションとなる魅力的な緑を中心とした街づくりを推進する」としている。</p> <p>「水際線」と、「みなと交流軸」（P.6 「市都心臨海部再生マスタープラン（15.2）」）と「ウォーターフロント軸」（P.7 同マスタープラン施策①世界中の人々を惹き付ける空間・拠点の形成）と使い分けられている、何が同じで/何が異なるのか、市は、市民に分かりやすく明確に説明すべきである。少なくとも後者（P.7の図）は、瑞穂ふ頭以北を志向している。先達・先人たちが横浜港構想で説いてきた、「水際線」はやはり、瑞穂ふ頭以北をも貫き、ベイブリッジ-山下ふ頭、横浜港を一周していることの証明であろう。であるならば、横浜市は、瑞穂ふ頭に居座るノースドックの早期・全面・完全返還を国・米軍に求める責任と権利があることを示したと評価できる。ぜひ、そのセンで交渉を繰広げてもらいたい。</p>	④	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>2地区の現状と課題>建物現況及び4まちづくりの実現に向けて 水町通りには、築40年以上の民間（主にマンション）の建物が多くある状況です。また、住民は古くからお住まいの高齢者が多いといった状況です。 特に、にぎわいをつなぐ通りと個性を生かした界隈性のある通り交わる周囲は機能強化が必要だと思いますが、これらの状況ではインフラの更新（建て替えや大規模な修復工事など）を民間のみで行うのは困難です。加えて、容積率などや建て替えに伴う税制といった制度的な課題もあります。 このため、収用などによる方法も検討が必要に思います。</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>203 山下公園通りのシンボル、マリンタワー。好きです。 この賃料がべらぼうに安いですが、一体いくらですか？ 値上げする予定はありますか？ 関内再開発の土地の賃料も異例に安いですよね。事業者から、もっと賃料を取りましょうよ。 という意見です。</p>	④	<p>本ビジョンは、本地区の目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すものです。いただいたご意見は本ビジョンとは関係しませんが、所管課と共有させていただきます。</p>
<p>204 そういえば、マリンタワーは市のものですね。 この賃料が安いと聞いたのですが、いったい今はいくらで企業に貸しているのでしょうか。 賃料を上げて、山下公園通り周辺地区まちづくりビジョンの予算に使おうじゃありませんか。</p>	④	<p>本ビジョンは、本地区の目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すものです。いただいたご意見は本ビジョンとは関係しませんが、所管課と共有させていただきます。</p>
<p>205 山下地区の素案には基本的に賛成です。加えて、近隣地区と共同で栄えていくことが重要だと思います。特に、以前と比べて衰退が著しい元町商店街の再興にも力を入れていただきたいです。山下町からの元町の入り口であるビル（プラザビル？）に代表されるように、老朽化が目立ちます。また、山下埠頭も開発してほしい。山下町も含めた一帯をリニューアルして山下町の魅力を何倍にもしてください。</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>206 不正をなくすように透明化を求める</p>	④	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>207 周辺の親水性向上を、「山下公園通り周辺地区のまちづくりビジョン」に盛り込むことを切望します。 横浜市の海岸線に対する自然海岸線はどの程度残りますか。かなり以前の話題で2%ほど、金沢区野島周辺を何度も確認のために出かけましたが、自然海岸と云える状況は無いと判断しました。現状は皆無と断言します。 横浜市が開港以来、港を中心に発展したことは否定できません。港すなわち海です。市民が海に触れることのできる海岸線はどの位あるでしょう。金沢の人工海浜、造成中のみなとみらいパーク北部の人工海浜程度でしょう。 一時、みなとみらいパークの護岸が沈下して波が洗う状態になりました。多くの人が足を浸しているのを目撃しました。要はみな海が好きです。安全に海に触れる海岸線を周辺に造りましょう。 「山下公園通り周辺地区のまちづくりビジョン」は、海そのものに言及することなく、周辺の環境整備に注目しております。 日頃、どれほど歴史を大切にしているでしょうか。築40年で老朽化するような街づくりで親子の共通の思い出は出来ません。長いこと企業が占有していた海岸線を市民に返して下さい。 山下公園周辺は、歴史的経緯から海を、港を目の当たりにできる数少ない環境です。しかし親水性は後退しています。横浜駅東口地区から山下埠頭に至るまでの海を、眺める海に触れ合える海を加えて下さい。 賑わいは作るもので無く、人々の思いが結集したものです。まず横浜市民の思いを結集しましょう。例えば、山下公園周辺に入海を復活するなども一つのアイディアだと思います。以上</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

208	<p>あと、懸念されるのは元町商店街の衰退、特に入り口であるプラザはさびれていて、ビルの劣化が著しい。元町商店街は昔と違い、ドラッグストアや質屋がおおくなっている。これでは、リピーターは呼び込めない。</p> <p>大岡川から野毛へのアプローチなど可能性はかなりあるのに、今ひとつ、化けないのがもどかしい。</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
209	<p>横浜市のシンボルの中心である山下公園通りの周辺地区のまちづくりについて</p> <p>新山下地区の町内づくりに日々努力をし、安全、安心な町づくりに努力致して居ります。最近、港の見える丘公園より千鳥坂の階段を下り、国内外のお客様も行動を通り、山下公園へ向かう路線も多くなりました。</p> <p>当地区として、ハマロードの清掃、千鳥坂の清掃、新山下公園の清掃、パトロールの実施を行っております。今後整備を願いたく要望致します。</p> <p>◎歩道の整備</p> <p>◎下水道の「におい」が時々あるとのこと</p> <p>◎樹木の伐採されたあとの整備</p> <p>◎ガードレールの整備、等を要望致します。</p>	④	<p>本ビジョンの対象範囲は、地区計画が定められている、山下公園通りと水町通りの間に位置する「山下公園通り地区」を中心に、元町・中華街駅や開港広場、山下公園など、周辺との関係性も踏まえたまちづくりの考え方をビジョンとしてとりまとめています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
210	<p>マリンタワーは本来市民のためというコンセプトのもと、民営化になったと聞いていましたが、飲食店や商業施設などの売上はどこに行くのでしょうか？</p> <p>またマリンタワーに入っているテナントは家賃をどちらに支払っているのでしょうか？</p> <p>これはいくらの家賃が支払われているのでしょうか？</p> <p>マリンタワーの適正家賃と現在の業者が支払っている価格を公開してもらいたい。</p>	④	<p>本ビジョンは、本地区の目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すものです。いただいたご意見は本ビジョンとは関係しませんが、所管課と共有させていただきます。</p>
211	<p>マリンタワーには人気のパンケーキ店などが入店していますがこれらの家賃は各テナントが、どこに毎月家賃を支払っているのか？</p> <p>横浜市に支払っているのであれば、横浜市のマリンタワーの家賃収入を公開すべきだと思います。</p> <p>マリンタワーの家賃が適正なのか？</p> <p>しっかり調べて横浜市民に分かる形で横浜市がしっかりと公表をして欲しいです。</p>	④	<p>本ビジョンは、本地区の目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すものです。いただいたご意見は本ビジョンとは関係しませんが、所管課と共有させていただきます。</p>
212	<p>横浜市の大事な財産であるマリンタワーの管理運営会社はどのように選ばれているのでしょうか？</p>	④	<p>本ビジョンは、本地区の目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すものです。いただいたご意見は本ビジョンとは関係しませんが、所管課と共有させていただきます。</p>